



smart
wellness
DATE

梁川町白根地区 健幸なまちづくり計画



平成 25 年 11 月
白根地区健幸都市推進協議会

目次

1.	はじめに	1
	(1) 計画の趣旨	1
	(2) 白根地区における健幸都市実現に向けた取り組み体制と役割	1
	(3) 伊達市健幸都市基本構想	2
	【トピック】三浦弥平さんの生き方に学んでみっぺ	3
2.	白根地区の現況・課題	4
	(1) 白根地区の現況	4
	(2) まちづくりの課題	5
	【トピック】なして、健康が必要なのか?	7
3.	健幸なまちづくりの将来目標	9
	(1) 将来像・目標	9
	(2) 健幸なまちづくりの基本方針	10
	(3) 健幸なまちづくりの将来イメージ	12
4.	健幸なまちづくり計画	13
	(1) 主な取組みの方向性	13
	(2) 「やってみっぺ」プロジェクト	19
5.	計画の実現に向けて	27
	(1) 推進の仕組み	27
	(2) 取組みの推進	28
	(3) 健幸づくり10ヶ条	29
6.	参考資料	30
	(1) 計画検討の体制について	30
	(2) 計画検討の経緯について	32
	(3) 白根地区健幸都市推進協議会の検討経過について	34
	(4) 白根地区専門部会ワークショップの検討経過について	39
	(5) 白根地区かわら版の発行について	47

1. はじめに

(1) 計画の趣旨

伊達市では、市民誰もが健やかで幸せに暮らし続けることができるまち「健幸都市」を目指し、平成23年11月に健幸都市宣言、平成24年3月には伊達市健幸都市基本構想を策定しました。

その基本構想において、白根地区が中山間地域のモデル地区として選定され、平成24年10月「白根地区健幸都市推進協議会」を設置しました。

白根地区の魅力を活かしながら、住み慣れたこの地域で健康で安心して暮らしていくためには何が必要なのか、主体的に何をしたらよいか、地域のみなさんとともに考え検討してきました。

本計画は、その検討結果を踏まえつつ、白根地区での課題、目指す将来像や目標、具体的な取組みの方向性について、提言書「白根地区健幸なまちづくり計画」としてとりまとめたものです。

今後とも、健幸なまちづくりの実現に向けて、みなさんとともに積極的に活動を進めていきたいと思っております。

(2) 白根地区における健幸都市実現に向けた取り組み体制と役割

(平成24・25年度)

■ 白根地区健幸都市推進協議会

「健幸都市」という新しい考え方のもと、白根地区健幸なまちづくり計画を検討する

- ① 専門部会から提出された提案を計画として協議する
- ② 白根地区における「健幸都市」の普及啓発
- ③ 専門部会及び市との連絡調整

■ 白根地区健幸都市推進協議会専門部会

「健康」を機軸とした白根地区のまちづくりについて話し合いをしながら検討し、具体的な提案をまとめる

- ① 日頃、抱いている白根地区のまちづくり課題の抽出（アンケート調査含む）
- ② 理想とするまち（将来像）を実現するため、具体的な解決方法や提案事項を検討
- ③ 課題や将来像について、部会としての意見をまとめ、協議会へ提出する



(3) 伊達市健幸都市基本構想

1) 伊達市健幸都市の将来像

「安心して子育てができ、安心して歳がとれるまち」

2) 健幸都市づくりの基本方針

健康づくり

～健康をうながすまち～

1. 予防の強化
2. 健康データの一元化
3. 健康拠点の整備

暮らしづくり

～自然と歩きたくなるまち～

1. 歩いて暮らすまちへの転換
2. 人との触れ合い・絆の強いまち
3. コンパクトなまちの建設
4. 住環境の整備

ひとづくり

～健幸マインドのまち～

1. 健幸意識の醸成
2. 青少年の情操育成
3. ソーシャルビジネスの創出

3) 実現に向けて

①モデル地区の設定

- 「市街地」：霊山町掛田地区
- 「中山間地」：梁川町白根地区

※白根地区モデル地区として選定の理由

- 歴史的背景：オリンピック・アントワープ大会マラソン選手の三浦弥平氏を輩出、「オリンピック村」「保育所」などを設け、健康づくり・スポーツの普及に貢献した三浦弥平氏の業績とその記念大会が長年開催されていること
- 豊かな自然環境：自然に恵まれ、豊かな自然環境の中山間地であり、集落を単位とするコミュニティができていること
- 地域自治会組織の活動：自治会を中心とした市民協働でのまちづくりが積極的に行われ豊かな白根の里づくり推進協議会、青少年育成協議会などの組織があり、地域自治会組織の活動が活発であること

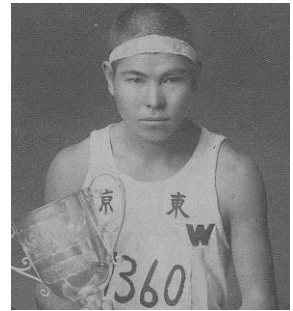
②健幸都市基本条例の制定

③健幸都市基本計画策定中

【トピック】三浦弥平さんの生き方に学んでみっぺ

1) 郷土の誇り、三浦弥平さん

白根地区の大先輩として、福島県初のオリンピック選手である三浦弥平さんがおります。弥平さんはマラソン選手として活躍しただけでなく、ドイツへ留学して体育学を学び、白根へ帰郷後は地域の青少年の育成やスポーツ振興に尽力するなど、多岐にわたって活動されました。



2) 略歴

1891 (明治24) 年	0歳	伊達郡白根村木ノ田にて、大きな農家の四男として誕生
1920 (大正9) 年	29歳	第1回箱根駅伝競走大会出場、早稲田大学チームの箱根山登りを担当 第7回オリンピック・アントワープ大会に出場、24位 ドイツに留学
1924 (大正13) 年	33歳	第8回オリンピック・パリ大会に出場し連続出場を果たす、途中棄権
1932 (昭和7) 年	41歳	オリンピック村を建設
1948 (昭和23) 年	57歳	自宅を「白根体育公民館」として青少年に開放
1949 (昭和24) 年	58歳	白根体育クラブを結成し、各種大会へ参加
1954 (昭和29) 年	63歳	白根村教育委員となる
1956 (昭和31) 年	65歳	東京オリンピック誘致運動にかかわる

3) すごい人だべえ エピソード

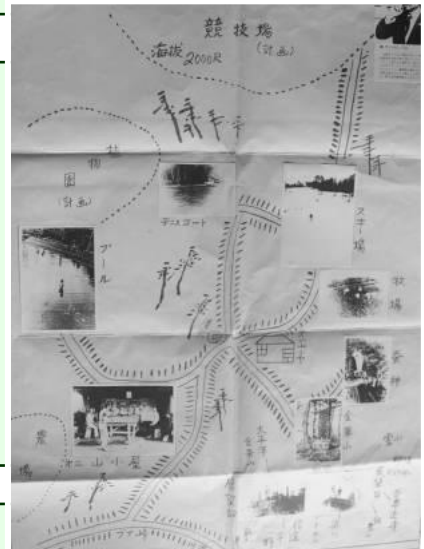
①自ら健康になるため努力しました ～病弱だったオリンピック選手～

弥平さんは、小学校で1年半休学、中学校で6ヶ月間休学するなど、幼い頃は病弱であったそうです。そのため温泉療養や早朝ランニングなど体力づくりに努めたところ、中学校秋季運動会の1000m走で優勝し、その後、マラソンのオリンピック代表選手になりました。

②地域のみんを健康に ～オリンピック村～

弥平さんは、県内各地をめぐる、青少年の育成活動に熱心でした。昭和7年には青少年総合スポーツ施設として、宮城県との県境にある筆甫村早稲田地内に「オリンピック村」を建設し、スキー場やジャンプ台、スケート場兼プール、競技場、テニスコート、バンガロー、展望台、農場などを整備しました。

オリンピック村は、地域住民のスポーツ・レクリエーションの場として多くの人々に利用されましたが、残念ながら戦争中に閉村となりました。



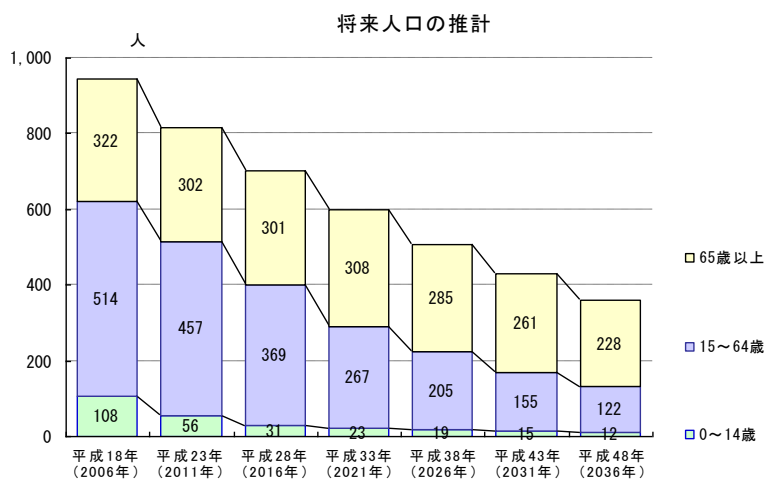
③学び、交流する場づくり ～白根体育公民館～

昭和23年、弥平さんは自宅を「白根体育公民館」として地域の青少年たちに開放しました。部屋にはマラソンのポスターのほか、体育や文学等の図書や資料がたくさんあり、巡回文庫も行っていったそうです。冬季には書道教室や裁縫教室を開催し、農繁期には地域の保育所としても使っていたそうです。

2. 白根地区の現況・課題

(1) 白根地区の現況

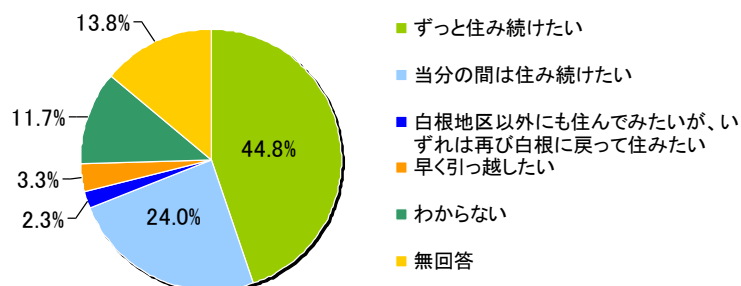
- ・白根地区は、阿武隈高地に連なる山地が広がり、谷間の狭い平坦地に集落が散在した典型的な中山間地域であり、豊かな自然が地域の魅力となっています。
- ・白根農業構造改善センター、白根小学校、集会所などが主な公共施設であり、これらが地区コミュニティの要となっています。
- ・バス路線の廃止に伴い、唯一の公共交通として、デマンド交通「まちなかタクシー」が運行されています。
- ・白根地区の人口は756人（平成25年9月／住民基本台帳より）で、15歳未満の人口は6.9%と市全体11.3%よりも低く、65歳以上の人口は36.4%で市全体29.7%より高く、少子高齢化の傾向が顕著です。また、人口の推移がこのまま続くと、今後10年で約200人の減少が見込まれています。



(住民基本台帳に基づき、コーホート法による推計)

- ・白根地区は、豊かな白根の里づくり推進協議会、青少年育成協議会などの組織があります。また、白根地区ではこれまでも集会所での高齢者サロン、県境を挟んだ宮城県丸森町筆甫地区との交流、地域全体の住民の交流を行うもろこしフェスティバルなどの行事を実施しています。
- ・三浦弥平氏を輩出した土地柄で、グランドゴルフを初めとする各種スポーツが盛んで、地域内、世代間の交流をしています。
- ・白根地区健幸都市づくりアンケートにおいて、約71%の方が「住み続けたい」「いずれ戻ってきたい」と答えており、高い水準となっています。

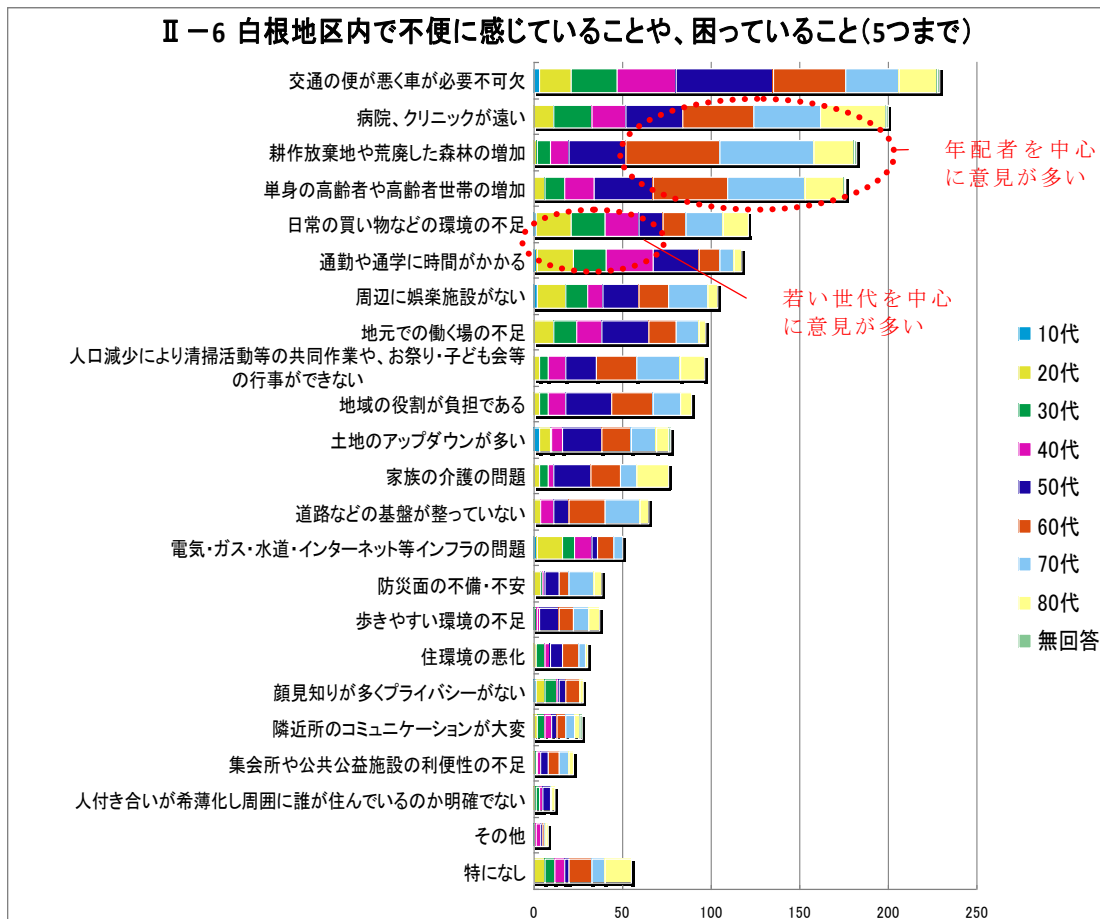
あなたは白根地区にこれからも住み続けたいと思いますか
(1つ) 母数600人



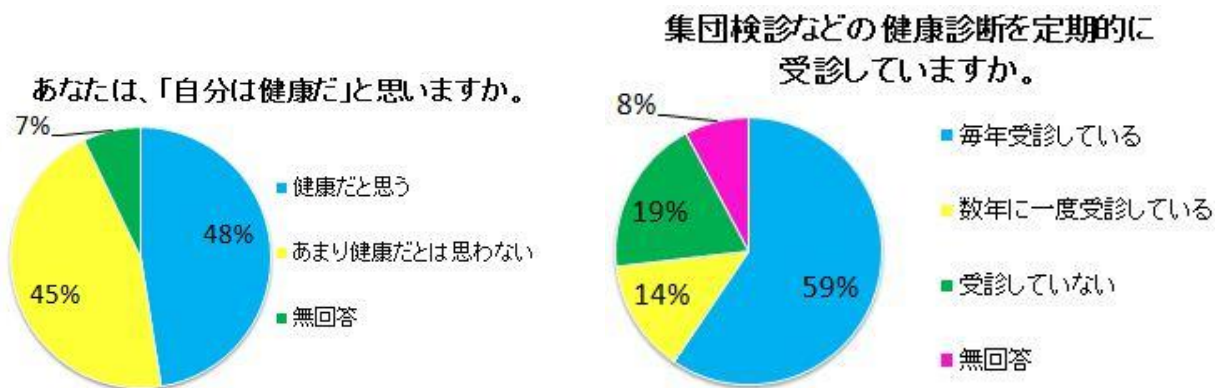
(白根地区健幸都市づくりアンケートより)

(2) まちづくりの課題

- ・白根地区健幸都市づくりアンケート結果では、「交通が不便（車が不可欠）」「医療機関が遠い」「耕作放棄地等の増加」「単身高齢者の増加」「買い物、通勤・通学が不便」などについて、不便や困っていることとしてあげられています。

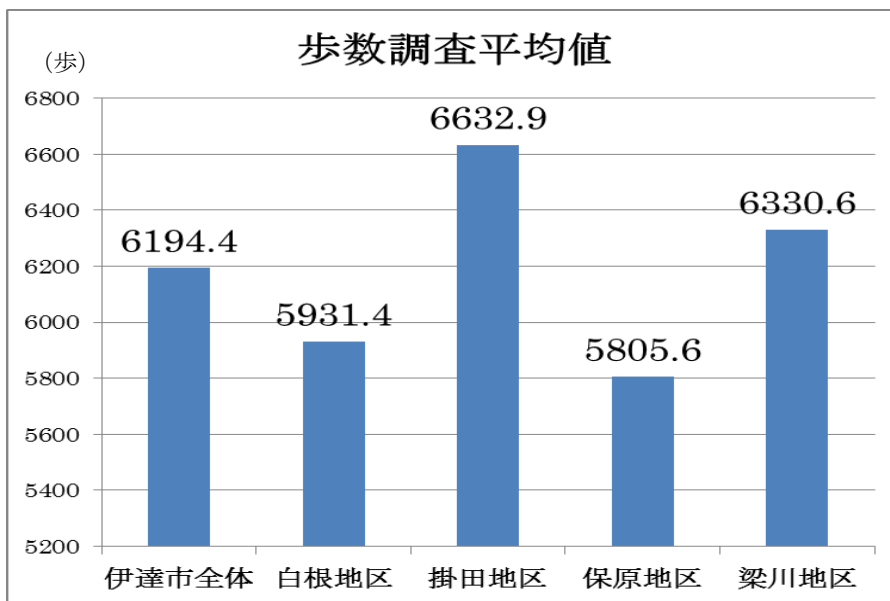


- ・健康づくりに対する関心や行動に関する結果では、「自分はあまり健康だとは思わない」が45%と約半数の方がそう感じていること、「集団検診などの健康診断を定期的を受診していない」が19%、「健康のために心がけていることが特にない」と答えた方が約40%という状況でした。



(白根地区健幸都市づくりアンケート／H24年12月実施より)

- ・ 健幸都市住民調査（歩数調査）結果では、白根地区の住民の歩数は5931.4歩／日であり、伊達市全体の6194.4歩／日に比べて低い状況となっています。



（健幸都市住民調査／H24年8月実施より）

- ・ 白根地区には、日常的に利用できる健康づくりの施設がなく、既存の公共施設の充実・効率化とあわせて、健康増進のための施設の検討が必要です。
- ・ 地域の幹線道路（県道平松梁川線）には歩道がなく、集落を結ぶ道路もせまく、歩行者が安全かつ快適に移動できる道路環境として十分ではありません。
- ・ 唯一の公共交通である「まちなかタクシー」の利用が低く（平成23年度利用者数：10人〔伊達市データより〕）、「買い物」「通勤・通学」など外出のための利用しやすい公共交通の整備が求められています。
- ・ 急速な少子高齢化による一人暮らし高齢者等の増加に対応した環境づくりが求められています。また、小学校の維持が困難になりつつあり、10年20年先を考えた地域全体の課題として捉えていく必要があります。
- ・ 阿武隈高地の優れた自然環境、点在する多くの神社仏閣や石碑、もろこし製品など身近で魅力となる地域資源や、主要な施設を回遊できる歩行者のネットワークの検討が必要です。
- ・ 自然には恵まれているものの、憩いの場所となる公園や緑地が不足しています。楽しく散策でき、憩いの場所を確保するための公園や緑地の確保も必要です。



【トピック】 なして、健康が必要なの？

1) 少子高齢化が進むと、行政や住民の負担が増加し、コミュニティの衰退が進みます

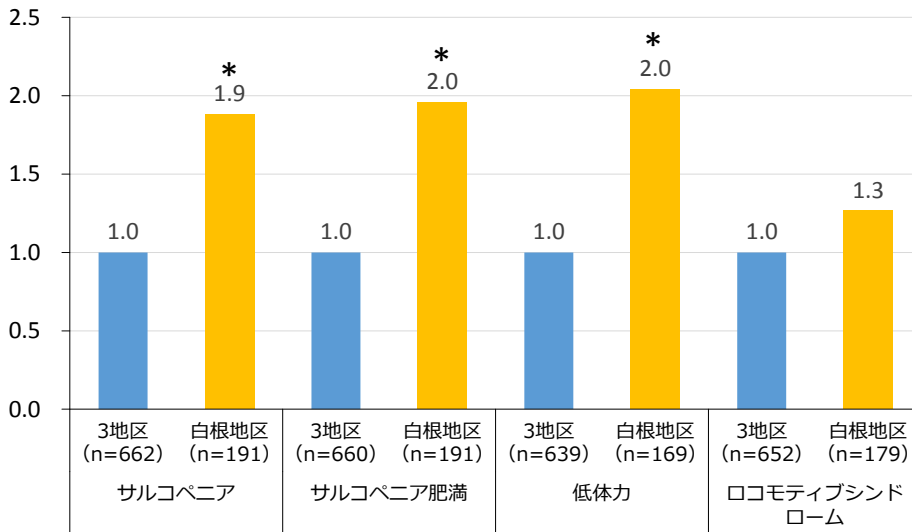
4 頁の人口推計のとおり、白根地区では急速な少子高齢化と人口減少が見込まれています。そうしますと、さまざまな課題の発生が予測されますが、特に医療や介護を含む社会保障費（行政負担）が増えるとともに、住民負担もあわせて増えていくことが考えられます。

また、地域の助け合い機能が低下し、高齢者のみならず、子育て家庭を含む、地域で暮らすすべての人が孤立しがちな社会となってしまうなど、白根地区の暮らしを支えてきた地域コミュニティが衰退してしまうおそれがあります。

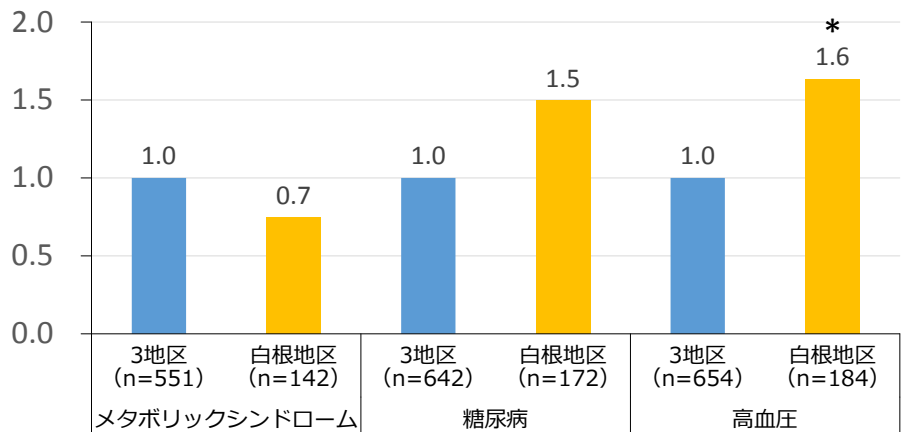
2) 白根地区の健康課題と、将来の懸念

生活環境やコミュニティの状況は、住民の健康状況に影響を与えています。健幸都市住民調査（歩数調査）結果をみると、白根地区の住民は、伊達市の他地域と比べて、生活習慣病や運動器疾患（骨、関節、筋肉など）のリスクが高いことがわかりました。

健康の維持・増進には、生活のなかで身体を動かすことが大切です。住民の健康は地域の重要な資源です。白根地区の将来にとって、運動習慣を増加させていくことが大切です。



白根地区における運動器疾患のリスク



白根地区における生活習慣病発症のリスク

※3地区は、伊達市の白根地区以外の掛田、保原、梁川
ロジスティック回帰分析；年齢、性別を補正（* $p < 0.05$ ）
（健幸都市住民調査／H24年8月実施より）

3) 白根地区の健康づくりの可能性（地域の絆を活かしたモデル的な取組み）

白根地区の自慢は、自治会を中心とした地域（コミュニティ）のつながりの強さです。こうした地域の特徴を活かし、郷土の先輩の三浦弥平さんの生き方に学び、前述のようなさまざまな課題の解決を図る、モデル的な健康づくりが考えられないでしょうか。

歩く、運動習慣づくり

出会いが増える

皆がしぜんと健康に！

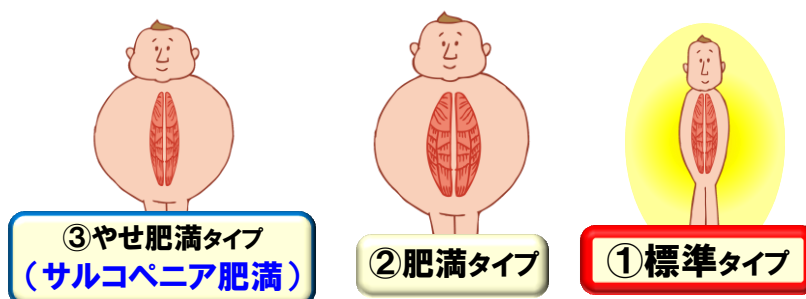
地域のつながり
（絆）の強さ

健康な暮らし、心の豊かな暮らし、コミュニティ維持・安心感 など

【補足1】サルコペニア・サルコペニア肥満

「サルコペニア」とは、「サルコ」が筋肉、「ペニア」が減少という意味で、「サルコペニア肥満」は、筋肉減少と肥満をあわせもった状態を示しています。

筋肉の減少は、転倒、骨折、寝たきりなどのリスクがあります。一方で、肥満は、糖尿病、脳卒中、心疾患などのリスクがあります。サルコペニア肥満の場合、2つの要因がさまざまな病気のリスクを高めてしまいます。



【補足2】ロコモティブシンドローム

「ロコモティブシンドローム」とは、骨・関節・筋肉など体を支えたり動かしたりする運動器の機能が低下し、日常生活で人や道具の助けが必要な状態、またはその一歩手前の状態をいいます。

運動機能が低下すると、さまざまな日常生活に支障が出てしまいます。特に転倒事故を引き起こすなど、注意が必要です。

【補足3】メタボリックシンドローム

「メタボリックシンドローム」とは、内臓脂肪型肥満に加えて、「高血糖」「高血圧」「脂質異常」のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態を示しています。

内臓に脂肪が過剰にたまると、糖尿病や高血圧症、高脂血症といった生活習慣病を併発しやすくなります。これらの症状を併発することで、動脈硬化のリスクを高めてしまいます。

3. 健幸なまちづくりの将来目標

(1) 将来像・目標

私たちが願う将来の白根地区はどうあるべきか、アンケートなど、地域のみなさんから寄せられた意見を参考にして、白根地区の今後のあり方を検討してきました。

白根地域で生活していくためには、住民のみなさんが地域に誇りをもち、住み続けたいと思ってもらうことが大切です。

そこで、健幸都市の推進とともに、さまざまな地域課題の解決を図ることで、この魅力ある白根地区に住み続けたい・住んでいて良かったと思える暮らしを実現することを目指して、以下のとおり将来像と目標を提案します。

将来像

**「健幸都市」を実現し、住み続けたい、
住んでいてよかったな～と思えるまち・白根**

目標

健康づくり

健康づくりの意識が高く、心も体も元気なまち

「健康」は、本人や家族だけにとどまらず、白根地区の暮らしや伊達市全体の課題にも関わっています。

私たち一人ひとりが心も体も健康であるために、健康づくりの重要性を理解し、日頃の運動や食事等の取組みを積極的に取り入れ、誰もが楽しく、自分に合った健康づくりの取組みができるまちを目指します。

目標

暮らしづくり

ふれあい・絆が強く、安心して住み続けることのできるまち

中山間地域特有の生活環境の課題（過疎化に伴う集落機能の低下、公共交通機能の確保、買い物弱者への対応など）等を改善し、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指します。

さまざまな交流や活動を通して、白根地域の魅力である人と地域とのつながりを深め、絆を実感できるまちを目指します。

目標

まちづくり・ひとづくり

健幸意識・まちづくりへの意欲が生まれるまち

白根地区の豊かな自然や歴史、「もろこし」などの地域資源をまちづくりに活かして、魅力あるふるさとを創造するとともに、私たち一人ひとりが健康づくりに取り組む意識と、まちづくりへ参画していく意識の向上を図ります。

(2) 健幸なまちづくりの基本方針

考え方1 健康づくりの取組み強化

健康の維持・増進のための取組みができる施設や日常的に運動をできる場所等の整備とその活用による健康づくりへの取組みが必要と考えます。

①『健康サロンの整備と活用』

→農業構造改善センターや地区集会所を活用し、定期的な健康チェック、健康相談、運動教室、健康に関する情報提供等を行える「健康サロン」の整備とその活用により、健康づくりに積極的に取り組むことが必要です。

②『健康づくりへの意識啓発』

→健康や歩くことの重要性を理解し行動するため、健康イベント等を通じたきっかけづくり、また、地域住民の健幸都市への理解や意欲を高めるためのPRも必要です。

③『白根スポーツクラブ』

→住民の健康づくり、仲間づくりを推進するため、人々が身近にスポーツに親しむことができる「白根スポーツクラブ」が必要です。

→学校開放の運営や、スポーツ教室・イベントの運営、講演会等の運営、スポーツ指導者の派遣、子育て支援等を行います。地域住民により自主的、主体的に運営され、「みんながあつまる、みんながつくる、みんなのクラブ」をめざします。

④『スポーツ広場の整備と活用』

→さまざまな世代が運動を行える公園や運動広場、駐車場の整備により、地域内外の交流、継続した健康づくりを進める事が大切です。

考え方2 暮らしづくりのための環境づくり

さまざまな生活環境の課題を改善しつつ、安心して外出したくなる環境を整え、歩く機会を増やし、暮らしやすいまちづくりが必要と考えます。

⑤『交流拠点の整備と活用』

→小学校や農業構造改善センター等を活用し、気軽に立ち寄り休憩や交流ができ、地域情報や健康情報の発信ができる拠点としての整備が必要です。

→交流拠点には、売店やカフェ（食堂）、カラオケや入浴ができる施設、保育施設などが必要です。売店では高齢者が日用品の買い物をできるようにするとともに、地域でとれた農産品などを販売し、地域の活性化につながることも望まれます。

⑥『デマンド交通の利便性向上』

→待合所の整備、デマンド交通の利便性を改善し、自家用車に頼らないでも移動でき、通勤・通学や病院に、買い物に、安心して外出できる仕組みが必要です。

⑦『高齢者住宅整備』

→地域の人と高齢者が気軽に交流できる工夫も備えた独居世帯の高齢者などが支え合って暮らせる「高齢者住宅」の検討整備等が必要です。

⑧『自然環境・農地の保全』

→森林や耕作放棄地の整備、草刈りなど、地域の共同作業として取組みを続けていくことが大切です。

→耕作放棄地を活用し、もろこしやそば等の特産品づくり、花木を植えた景観づくりなど、環境整備が必要です。

考え方3 人とのふれあい、地域づくりの向上

私たち一人ひとりが健康づくりに取り組む意識、白根を楽しむ意識、まちづくりへ参画していく意識などを育むため、人と人、人と地域のふれあいを深め、コミュニケーションを維持できる環境が必要と考えます。

⑨『散策コース設定と活用』

→塩野川、神社仏閣、桜や花の見所など、白根地区内の魅力を楽しみながら歩くことができ、健康づくりを行なえる散策コースが必要です。

→散策コースには、安心して歩ける空間とポケットパークなど休憩できるベンチ等設置なども必要です。

⑩『見まもり活動の推進』

→一人暮らしの高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、安否確認や食料・日用品の配送、福祉相談、話し相手としての活動を行う、地域見守り活動の推進が大切です。

⑪『特産品の活用』

→もろこし焼酎「白根万歳」など、地域の特性を活かしたオリジナル加工品の研究・開発、販路拡大を行い、地域のPRに繋げることが必要です。

→耕作放棄地にもろこしやそばなどを植え、特産品づくり推進も必要です。

⑫『イベント事業』

→三浦弥平氏を記念したイベント、白根地区の名所、自然を歩くウォーキングイベントなど、既存の行事や祭り、新規イベントを連携させることにより、地域の賑わい交流と外出歩行に繋げていくことが必要です。

→グランドゴルフなど、誰でも気軽に取り組めるスポーツの普及を進め、継続した健康づくり活動とするための工夫が必要です。

⑬『観光マップ・情報案内板整備』

→主要な公共施設や地域資源をめぐるための散策コースを設定し、距離標を設置するとともに、案内マップの作成が必要です。また地域内の主要な場所には情報案内板の整備が必要です。

(3) 健幸なまちづくりの将来イメージ

健幸なまちづくりによる白根地区での暮らしのイメージを示します。

- 『考え方1』に基づいて、健康づくりのための健康サロンや周遊・散策ルートなどを活用し、健康づくりへの取り組みを進めることができる。
- 『考え方2』に基づいて、交流拠点の整備やデマンド交通、高齢者が支え合って暮らせる住宅などの整備により、安心・安全な暮らしを支える仕組みが整う。
- 『考え方3』に基づき、白根地区を楽しみ、交流を育み、自然と歩きたくなるような仕掛けがある。

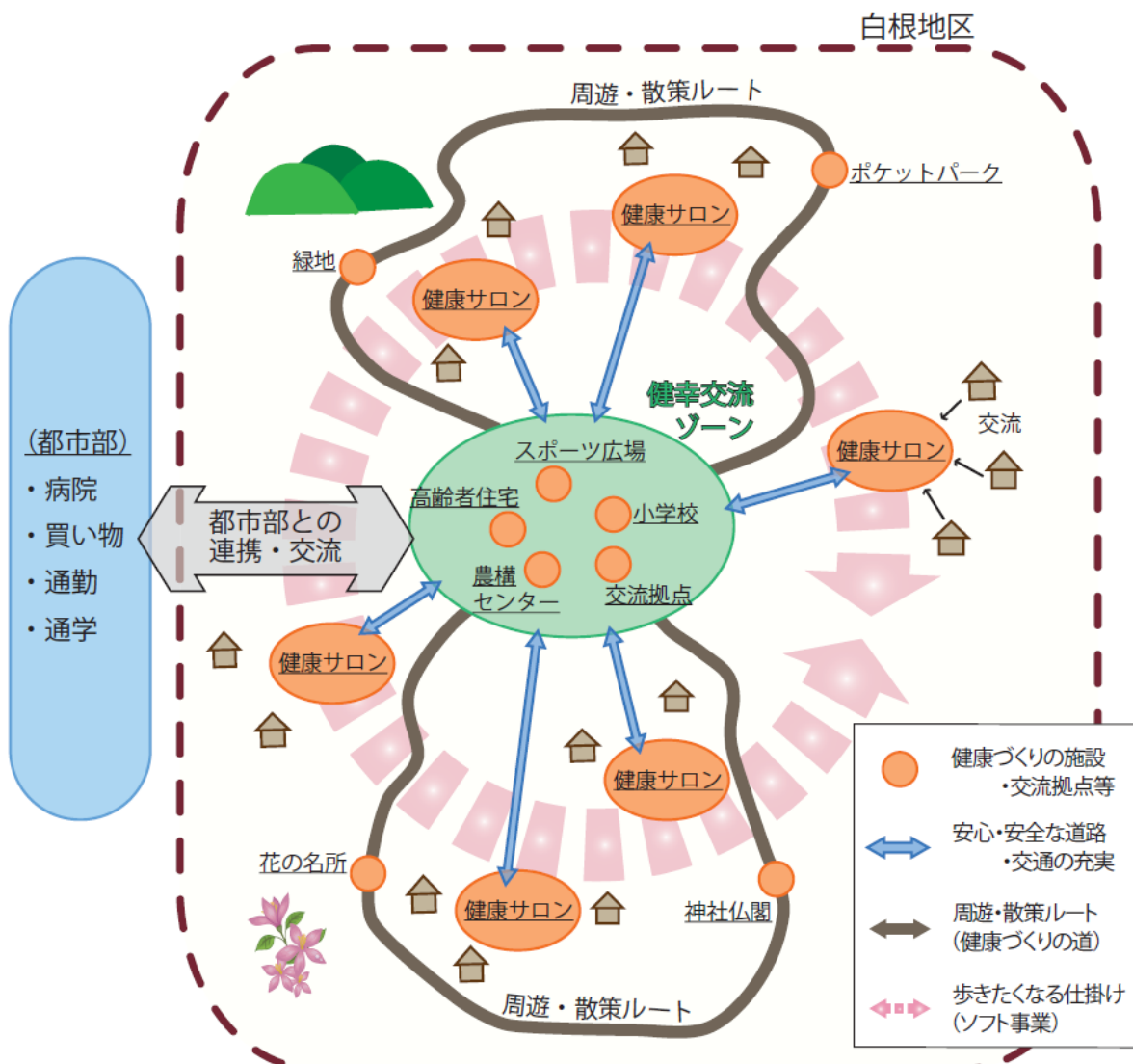


図 歩きたくなるまちのイメージ

4. 健幸なまちづくり計画

(1) 主な取組みの方向性

前述の将来像・目標や基本方針を踏まえつつ、その実現のための主な取組みと、方向（施策、取り組み時期、主体）について、以下のとおり設定します。

1) 方針1（健康づくりの取組み強化）

取 組 み		取組み時期			活動主体		備考
		短期 1～2年	中期 3～5年	長期 5～10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること	
①健康サロン	○農構センターの整備	●	●		・農構センターの活用案の検討 ・施設の運営、管理	・農構センターの改修	
	○小学校体育館の充実		●	●	・小学校体育館の維持・活用案の検討	・小学校との連携、活用	
	○集会所の充実	●	●		・お茶会の開催 ・健康サロンの実施	・集会所を活用した健康づくり施策の充実	
	○健康器具・健康端末	●	●		・健康器具・健康端末の活用	・健康器具・健康端末の設置	
	○健診・体力測定	●	●	●	・健康チェック、体力測定 ・健診等の受診率の向上の取組み	・健康づくりに関する施策実施	
	○健康相談	●	●	●	・保健師、専門指導員による健康相談等への協力	・保健師、専門指導員による健康相談等 ・健康に関する施策実施	
	○健康教室・健康体操	●	●	●	・健康教室、健康体操、脳トレ等の企画立案、参加 ・住民のリーダーの育成	・健康づくりに関する施策実施 ・指導員の配置・育成	
	○健康管理のプログラムなど	●	●	●	・健康づくりに関するプログラムへの参加・評価	・健康づくりに関するプログラムの開発 ・健康クラウドによる健康施策の実施	

取 組 み		取組み時期			活動主体		備考
		短期 1～2年	中期 3～5年	長期 5～10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること	
②健康づくりの 意識啓発	○健康サロンの運営	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 健康サロンの企画、運営 健康サロンへの参加 健康について話し合う 仲間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 健康サロンの運営支援 	
	○健康イベントなど	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、健康イベントの企画、運営、参加 企画会議の実施 若い人の意見交換 車に依存しない取組みを考える 住民のリーダーの育成（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> 広報等、イベントの実施支援 指導員の配置・育成 高齢者支援人材の資格取得支援（ヘルパーなど） 	
	○情報発信など	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 健診等の周知 健康情報、地区情報の発信 ホームページ、チラシ、ポスター等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 健康情報の提供 ホームページ等の作成支援 チラシ、ポスター等の印刷支援 	
③白根スポーツ クラブ	○小学校体育館の充実（再掲）		●	●	<ul style="list-style-type: none"> 小学校体育館の維持・活用案の検討（再掲） 小学校体育館活用のルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校との連携、活用（再掲） 	
	○スポーツクラブ				<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会の開催 練習、トレーニングの実施、参加 年代別、体力別スポーツの実施 クラブ運営会議の実施 住民のリーダーの育成（再掲） 若者が集える場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 広報等、イベントの実施支援（再掲） 指導員の配置・育成 小学校体育館の改修（床の張替え、サッシ、トイレ、シャワーなど） 運動器具の設置 	
	○軽スポーツの普及	○	●	●			
○スポーツ大会など							
④スポーツ広場	○運動広場 ○イベント広場 など		●	●	<ul style="list-style-type: none"> 運動広場の活用案の検討 四季折々のイベント（芋煮会、盆踊りなど）、地区対抗のスポーツ大会の実施 子どもの遊び場づくり 広場の運営会議の実施 整地、草刈等の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 運動広場、駐車場整備のための補助事業導入 	

2) 方針2 (暮らしづくりのための環境づくり)

取 組 み	取組み時期			活動主体		備考	
	短期 1~2年	中期 3~5年	長期 5~10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること		
⑤地域交流拠点	○交流サロン (フリースペース) ○地域づくり 組織の事務所 ○地域資料展 示・ギャラリー など	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・農構センターの活用案の検討 ・地域づくり組織の運営体制の構築 ・施設の管理 ・事業計画の策定 ・定期の展示企画、運営会議の実施 ・趣味などの交流、展示 ・健康情報、地区情報の発信(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農構センターの整備 ・事務機器の設置(机、パソコン、コピー機など) 	
	○カフェ (居酒屋) ○売店 ○特産品販売 など	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・販売スタッフなどの協力 ・日用品の販売 ・高齢者の買物支援、販売の仕組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流サロンとあわせた店舗の検討 ・JAや小売チェーン店との連携の検討 	
	○交流拠点を 活用したイ ベント	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・体験イベント(そば打ちなど)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施支援 	
	○交流センタ ー別館 ○入浴施設、売 店 など		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・交流館別館の整備案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流館別館の整備 	
⑥デマンド交通	○「まちなかタク シー」等による公共交 通 など	○	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な地域運営体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなかタクシー」ルート拡充(タクシー事業者へ要望) ・新交通等の社会実験等、運用体制の検討 	

取 組 み		取組み時期			活動主体		備考
		短期 1～2年	中期 3～5年	長期 5～10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること	
⑦高年齢者住宅	○ 高齢者が支えあう住まいなど		○	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居高齢者など、新しい住まい方のニーズの検討 ・ 空家活用の検討 ・ 移転者の呼び込み ・ 支えあい、共同で作業するコミュニティづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の共同住宅の検討（新築、空家、空き教室の活用） ・ 高齢者住宅の補助事業導入 	
⑧自然環境・農地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作放棄地の活用 ○ 散策ルートの景観整備 ○ 草刈 ○ 里山の手入れ ○ 河川の整備など 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈や清掃などの共同作業 ・ 耕作放棄地の活用 ・ 営農組織の充実（法人化など） ・ 共同菜園 ・ 花苗の育成 ・ 草刈や散策ルート、里山や森林の整備 ・ 河川等の清掃 ・ 市からの受託業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農体制の支援 ・ 国（国有林）や、河川整備担当課との調整 ・ ポケットパークの整備 	



3) 方針3 (人とのふれあい、地域づくりの向上)

取 組 み		取組み時期			活動主体		備考
		短期 1~2年	中期 3~5年	長期 5~10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること	
⑨散策ルート	○散策ルート	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・散策ルート、周遊ルート（まちなかルート、松坂ルート、オリンピックルートなど）、ジョギングコース等の検討 ・ベンチの設置 ・歩く会の体制づくり ・案内人の育成 ・散策イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート検討支援 ・広報等、イベントの実施支援（再掲） ・案内人の育成支援 ・トイレ、ベンチの設置 	
	○ポケットパーク		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・適地の選定 ・草刈等の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケットパークの整備（再掲） 	
	○景観整備		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の活用（再掲） ・花苗の育成（再掲） ・草刈や散策ルート、里山や森林の整備（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観整備の活動支援 	
	○安全な歩行空間など		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー舗装等による歩行者空間整備 	
⑩見まもり活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の安否確認 ○買物支援 ○保育活動など 		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認など、見守り体制の推進 ・高齢者の買物支援、販売の仕組みの検討（再掲） ・子育て、保育活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・IT等を利用した見守り活動の支援 ・JAや小売チェーン店との連携の検討（再掲） ・子育て、保育活動の支援 	
	○高齢者を支える健康づくりの人材育成など	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸まちづくりの運営体制構築 ・健康情報、地区情報の発信（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸まちづくりの運営体制構築支援 ・高齢者支援人材の資格取得支援（ヘルパーなど）（再掲） ・人材育成のカリキュラム実施 	

取 組 み		取組み時期			活動主体		備考
		短期 1～2年	中期 3～5年	長期 5～10年	地域・住民でできること	行政にお願いすること	
⑪特産品の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特産品の活用 ○ 特産品直売所、カフェ、農家レストラン ○ 6次産業化の推進 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品づくり、活用の検討 ・ もろこし生産体制の共同化 ・ 特産品直売所、カフェ、農家レストランの検討 ・ 6次産業化の推進（生産、加工、販売体制の構築） ・ 先進事例調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品活用の支援 ・ 交流サロンとあわせた店舗の検討（再掲） ・ 6次産業化の支援 ・ 放射能風評被害の払拭 	
⑫イベント事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行事や祭り、新規イベントの連携 ○ 三浦弥平氏記念の行事 ○ スポーツの普及 ○ イベント情報の発信 	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四季折々のイベントの企画、運営、参加 ・ イベント情報の発信（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報等、イベントの実施支援（再掲） 	
⑬マップ・案内板	○案内マップ	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・ 白根地区の宝さがし ・ 案内マップの作成 ・ 神社仏閣めぐりのスタンプラリー、ウォーキング大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内マップ作成支援 	
	○情報案内板	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・ 神社仏閣や散策ルートなどでの情報案内板の検討 ・ 案内板に掲載する情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報案内板の整備 	
	○案内人など		●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内人の育成（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内人の育成支援（再掲） 	

(2) 「やってみっぺ」プロジェクト

本項では、専門部会での議論を通じて、施策全体の中でも重要度が高く、早期の取り組み展開が望まれる主要プロジェクトとして抽出・検討された3つのプロジェクトと、別途企画委員会を通じて早期実施の検討がなされたイベントプロジェクトについて、具体的な取り組み内容や展開イメージ案を、以下のとおり設定します。

1) 健康サロンづくりプロジェクト

① 取り組み内容

- ・白根地区では、各種スポーツ活動（白根小学校体育館、白根農村広場など）が盛んで、地域内、世代間の交流などに役立っています。また、各集会所などでのサロン活動が熱心に行われており、集落ごとの交流が行われています。
- ・一方で、地区には日常的に利用できる健康づくり施設がなく、伊達市平均より健診の受診率が低く、1日あたりの歩数も低い傾向にあります。
- ・地区の既存施設などを活かし、定期的な健康チェック、健康相談、運動教室、健康に関する情報提供等を行える健康づくりの拠点整備と、そのネットワークを形成することにより健康づくりに積極的に取り組むことが必要です。
- ・白根地区内の各集会所、農業構造改善センター、白根小学校体育館などを活用し、健康づくりの支援機能（健康サロン、健康相談、地区ごとの健康データの集約等）、運動施設機能（運動教室や高齢者の脳トレーニング、筋力トレーニング等）、人材育成機能（健康教室、健康イベント等）などの整備・充実を図ることが大切です。

② 整備する諸機能イメージ



農業構造改善センター



白根小学校体育館

【集会所（6ヶ所）を活用】

- ・健康サロン、健康教室（集会所の会議室）

【農業構造改善センター】

- ・研修室、軽運動室（大会議室の活用）

【白根小学校体育館】

- ・体育館（小学校の施設と兼用）
- ・白根スポーツクラブ（体育館を中心に活動）

- ・健康づくりのプログラム
- ・人材育成

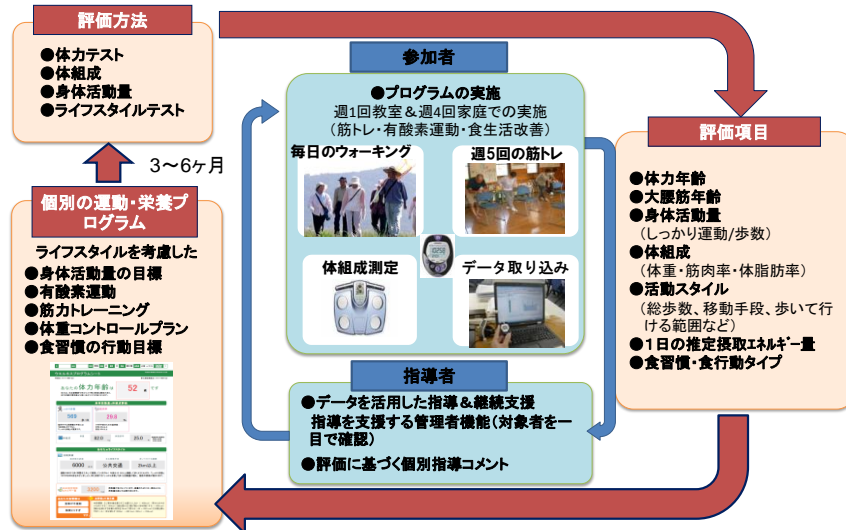


健康づくりプログラム

【健康づくりのプログラムイメージ】

①健康プログラム

各集会所や農業構造改善センターなどで運動教室を実施するとともに、各家庭などで実施できる、個別の運動・栄養カリキュラムを作成します。目標設定しながら、効果がみえやすくなれば、運動が楽しくなります。

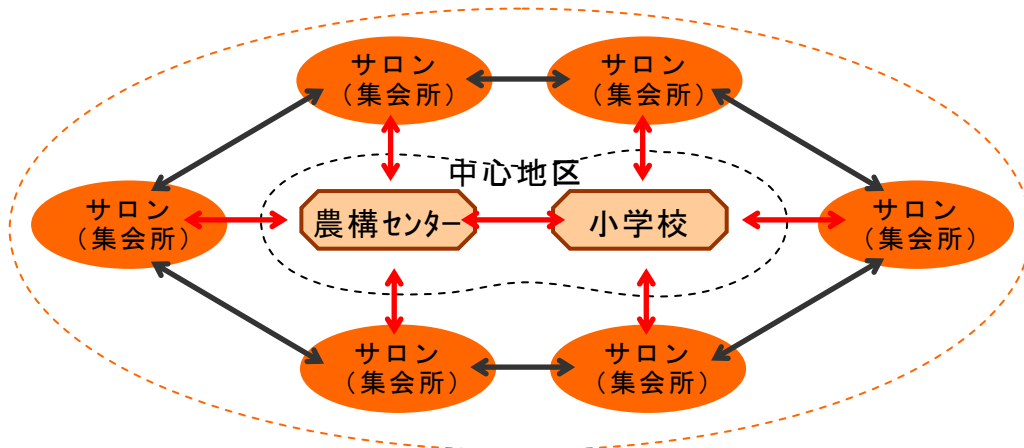


②人材育成

上記のプログラム推進とあわせて、「白根スポーツクラブ」の設立や、スポーツや健康づくりを進めるリーダーを増やすための教室、また高齢者が高齢者の生活を支援するための体制づくり(介護福祉士やヘルパーの資格取得など)が必要です。

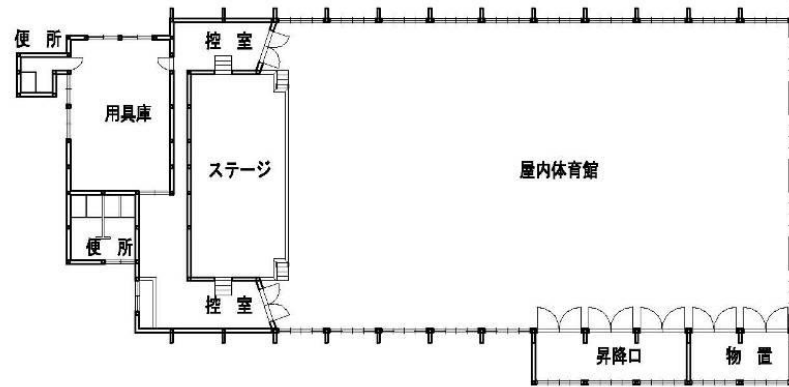


健康運動教室

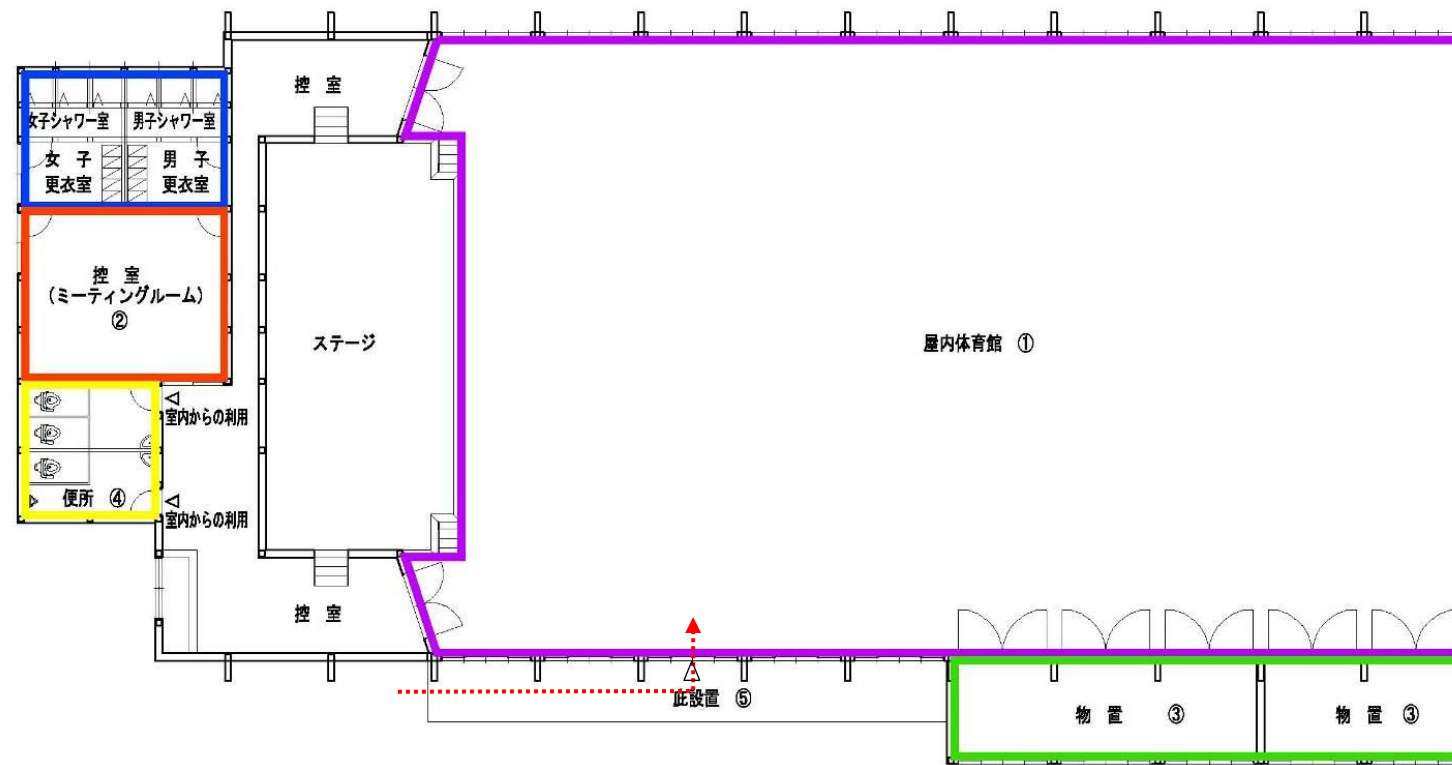


健康づくり拠点のネットワーク(イメージ)

※体育館全体の耐震性については、別途検討が必要である。



現況平面図



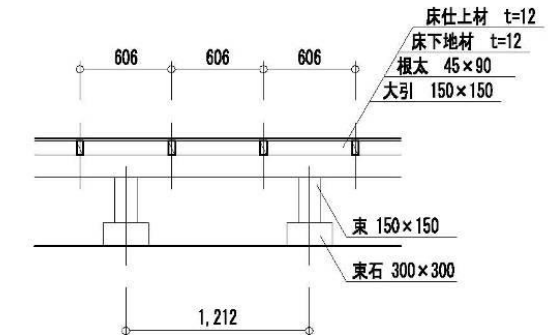
改修平面図

■更衣室・シャワー室

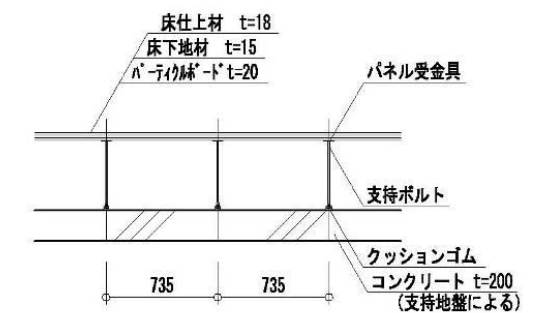
清潔感のあるシャワールームを設置する。高窓を配置することで、明るい空間とする。更衣室は、メンテナンスしやすい仕上材を使用する。



床の修繕案



既存床断面図



改修床断面図

■控室 (ミーティングルーム)

体育館利用者の利便性を図る為のスペースを整備する。控室としての機能の他、壁面等利用し、地域スポーツ情報等の発信を行う。



改修内容

番号	内容
①	屋内体育館床改修 (体育館床全面改修)
②	控室への変更に伴う改修 (シャワー室、更衣室設置)
③	物置改修 (床コンクリート打設)
④	トイレの配置改修
⑤	庇設置 (庇の新設)

2) 散策ルートづくりプロジェクト

① 取り組み内容

- ・ 塩野川、愛宕神社や清水観音などの神社仏閣、桜や花の見所など、白根地区内には、魅力的なところが点在しています。
- ・ それらの魅力を楽しみながら歩くことができ、健康づくりを行える下記のような散策・周遊ルートが必要です。

① まちなか散策ルート

→ 農構センター、滝野神社、愛宕神社など

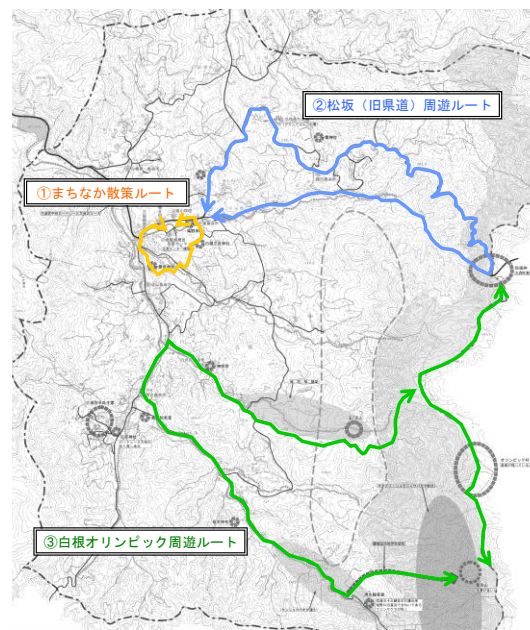
② 白根オリンピック周遊ルート

→ オリンピック村跡、雁形山、清水観音など

③ 松坂（旧県道）周遊ルート

→ 旧県道、松坂峠など

- ・ 上記ルートのほか、各行政区（自治会）ごとに、集会所（健康サロン）を起点とした、日常的に、気軽に歩くための散策ルートを設定すると、体力や好みにあわせ、住民が健康づくりを行うことができます。
- ・ 各ルートには、安心して歩ける空間、花木などの景観を引き立てる空間、ポケットパークなどの休憩できる施設等があると楽しく歩かことができます。



② 整備する諸機能イメージ

『ポケットパーク』

- ・ 地区内の散策ルートに配慮して、地域の憩いの場所や身近な交流の場となるポケットパークの整備が必要です。
- ・ ポケットパークには、トイレ、広場、あずまや、ベンチ、健康器具などの施設を配置し、地域が中心となった施設活用などの取り組みが重要です。



ポケットパークイメージ

『おもてなしの景観整備』

- ・ 散策ルート上には、耕作放棄地などを活用して花木、花壇などを整備することによって、歩くことが楽しくなります。また、手づくり案内板を整備したり、里山の整備も大切です。



花壇イメージ

『歩行空間整備』

- ・ 白根小学校周辺では、カラー舗装等により、安全性を考慮しつつ、安全に歩くための「歩行者ネットワーク」に配慮した整備が必要です。



カラー舗装イメージ

3) 交流拠点づくりプロジェクト

① 取り組み内容

- ・ 生活環境の課題等を改善し、さまざまな交流や活動を通して、白根地区の魅力である人と地域とのつながりを深めるため、健康情報や地域情報の発信拠点としての機能を有する、地域住民が気軽に立ち寄れる交流施設の整備が必要です。
- ・ 白根地区のコミュニティの拠点となっている農業構造改善センターを中心として、施設を改築し以下の機能を整備します。



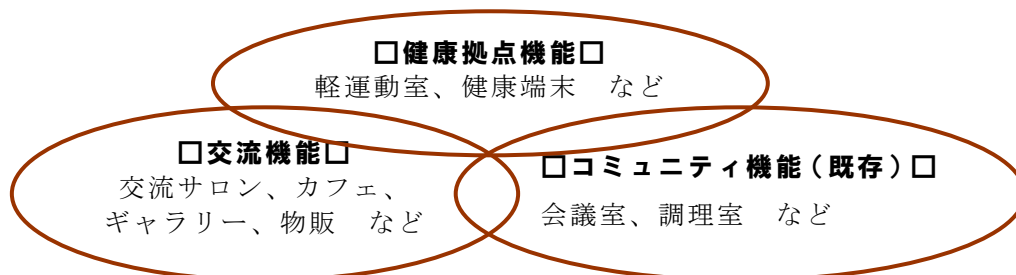
農業構造改善センター

② 整備する諸機能イメージ

- 交流サロン
フリーに使えるスペース
- カフェ
軽食や地域の特産メニューなどを提供
- ギャラリー・資料コーナー
三浦弥平氏、地域の自然や歴史など
- 物販コーナー
地域の野菜、地場産品の紹介、手づくり民芸品など
- 健康端末コーナー
- ウッドデッキ
カフェ、イベントステージ、バーベキューなどに活用



蔵を活用した「絹蔵」の例（川俣町）



※物販機能については、JA伊達みらい農業協同組合と連携し、宅配（各集会所）サービスなどによる、地区内の買物弱者への支援や、地場産品の活用をめざします。

■ウッドデッキ（イベントスペース）

南側傾斜地にウッドデッキの整備を行い、イベント等を行う場として開放する。春には、敷地内に咲く桜を見ながらのイベント（花見）も可能である。

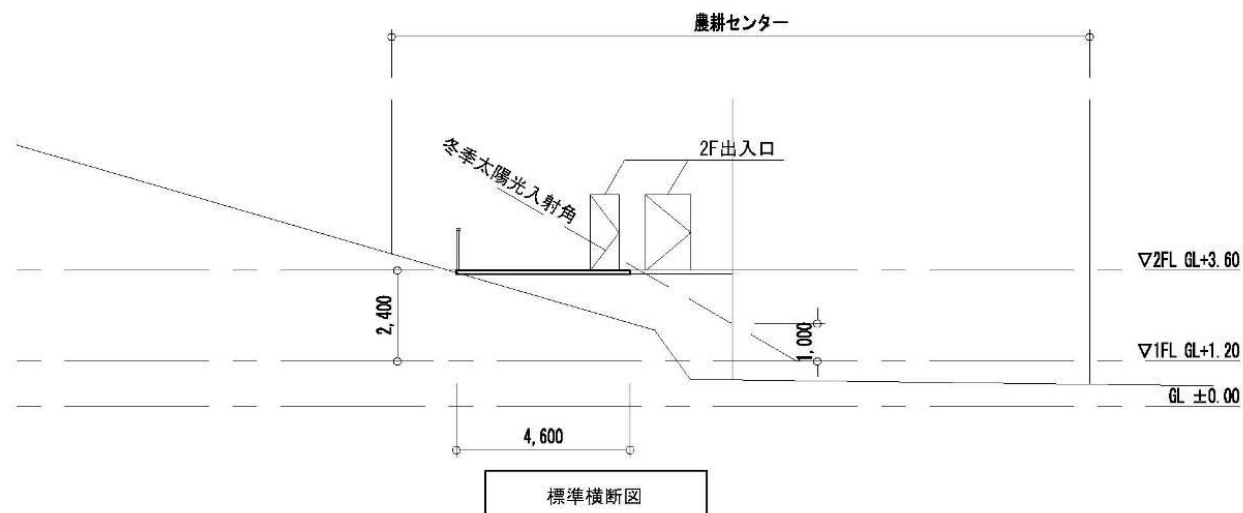
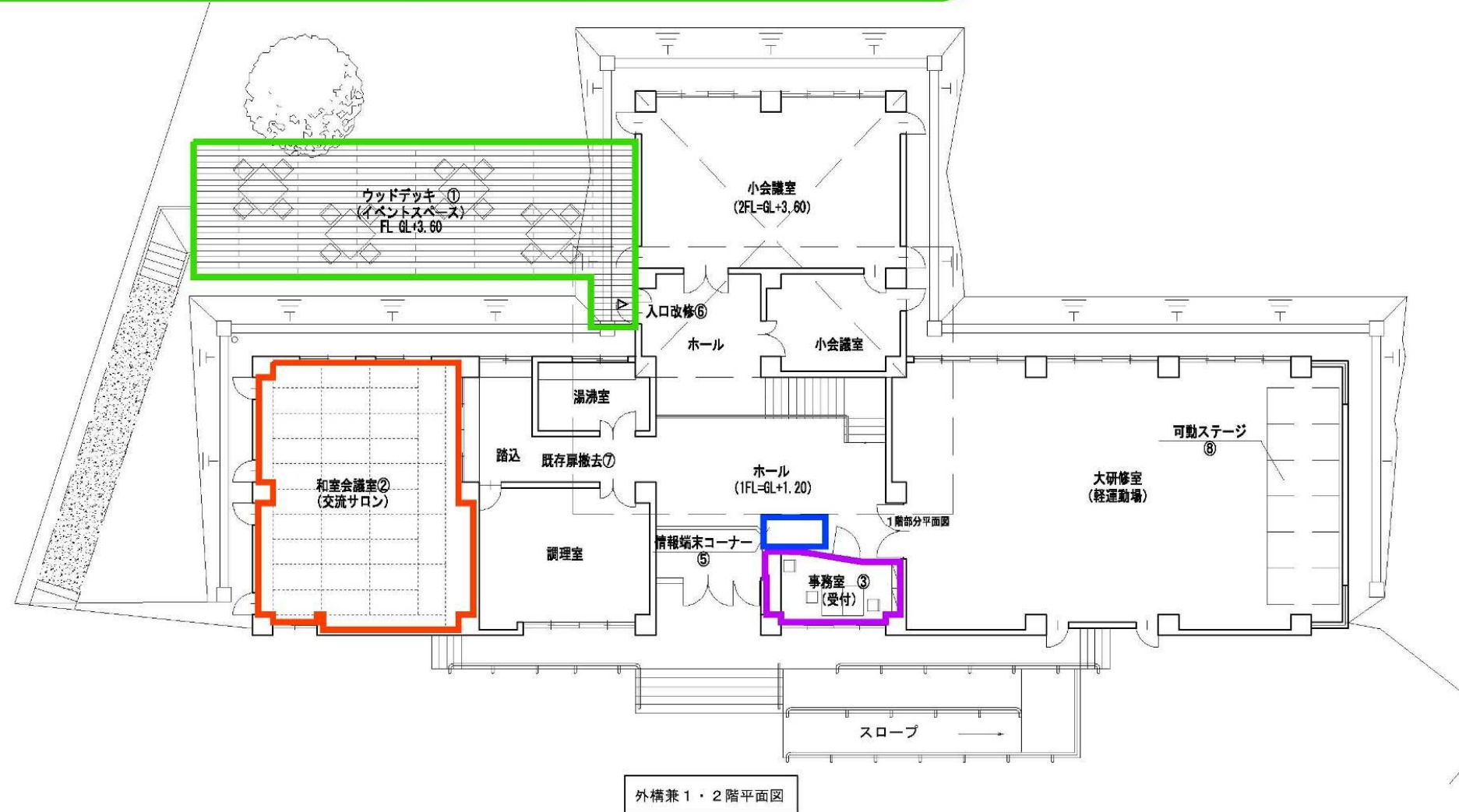


■可動ステージ（イメージ）



改修内容

番号	内容
①	ウッドデッキ新設（南側傾斜地に設置）
②	内装改修（和室会議室の内装仕上改修）
③	事務室新設（1階ホールの一部を利用）
④	多目的トイレ新設（既存物品庫を多目的トイレに改修）
⑤	情報端末コーナー設置
⑥	入口改修（ウッドデッキへの出入口）
⑦	既存扉撤去
⑧	可動ステージ設置



■和室会議室（交流サロン）

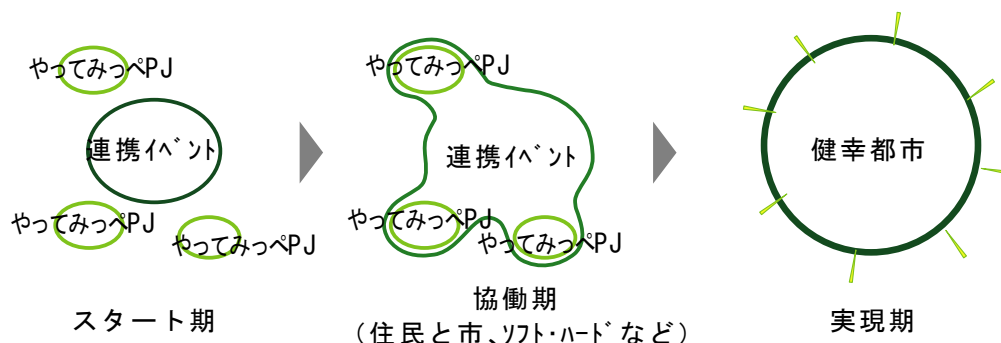
既存の和室を利用し、地域住民が気軽に利用できる空間として開放することで、文化交流の場としての利用を考える。



4) 連携イベントプロジェクト

①取組みのねらい

- ・「やってみっぺ」プロジェクトの取組みなどを結びつけて、健幸都市の取組みが見える、体験できるなど、具体化させていくことねらいとして、先導的な連携イベント（ソフト事業）を実施します。



②取組み内容（H25年度）

A. 健幸都市講演会の開催

健幸都市づくりへの理解を深めるため、11月4日に開催する地区イベント（もろこしフェスティバル）に合わせて健幸都市講演会及び「普天間かおりミニコンサート」を開催する。

B. 健康サロン

現在、各町内会ごとに実施している「ふれあい・いきいきサロン」をベースに、体の健康（運動）、脳の健康、栄養教室、介護予防などの学習等を行い、「自分の健康は自分で」を意識し、いつまでも元気で過ごせるような健康サロン事業を展開する。事業の実施に当たっては、必要な用具等を整備し、保健師、栄養士、健康運動指導士等の専門家の指導を仰ぐとともに、各町内会での自主的な活動を促す。

C. 世代間交流イベントの開催

高齢者から子どもまで幅広い世代の参加により、世代間交流を図りながら、健康づくりに対する意識の向上を目指すための教室等を実施する。

【スキー教室】

地区の若年層、子供を対象にスキー教室を開催し、滑走技能及び運動機能の向上を図るとともに世代間の交流を図る。

【スポーツ吹矢の導入】

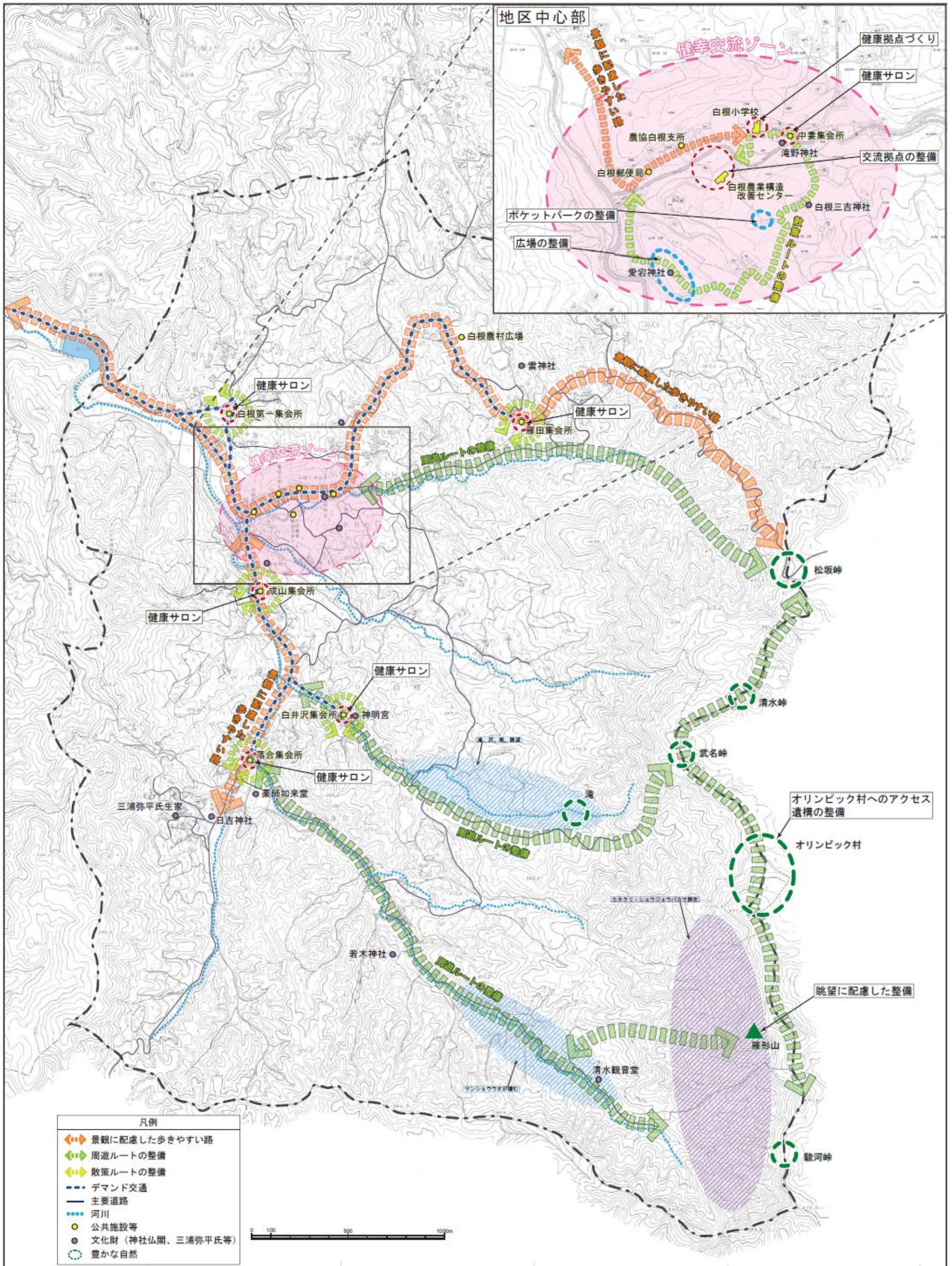
肺機能の活性化など、年齢を問わずに楽しみながら健康づくりができる「スポーツ吹矢」を導入し、指導員による講習会や競技会を開催して健康づくりの環境を整える。

D. 周遊・散策ルート開発

健幸都市づくり計画に掲げる散策周遊ルートとして、故三浦弥平氏が拓いた「オリンピック村」に至る清水～雁形山登山ルート（古観音経由及びスルス峠経由2ルート）を安心して歩ける空間を整備するための事前踏査及び下草刈りを行う。

（雁形山：標高677m 今では植林のため太平洋が望めず。塩野川の源流。ルート上にブナ原生林、カタクリの群生地が見られる。国有林のため本整備の際は、関係機関との調整を要する。）

白根地区 健康なまちづくり計画 構想図



5. 計画の実現に向けて

(1) 推進の仕組み

健幸なまちづくりの主役は、白根地区に住んでいる私たちです。協議会では、住民のみなさんはもちろん、町内会、各種団体・民間事業者、行政等と連携しながら協働のまちづくりを展開していくためのコーディネーターという役割を担います。

本計画にもとづき、行政への施策の実現や支援の要請を行っていくとともに、「住み続けたい、住んでいてよかったな～」と思える白根地区の実現に向けて、引き続き検討及び活動を進めていきたいと思っています。

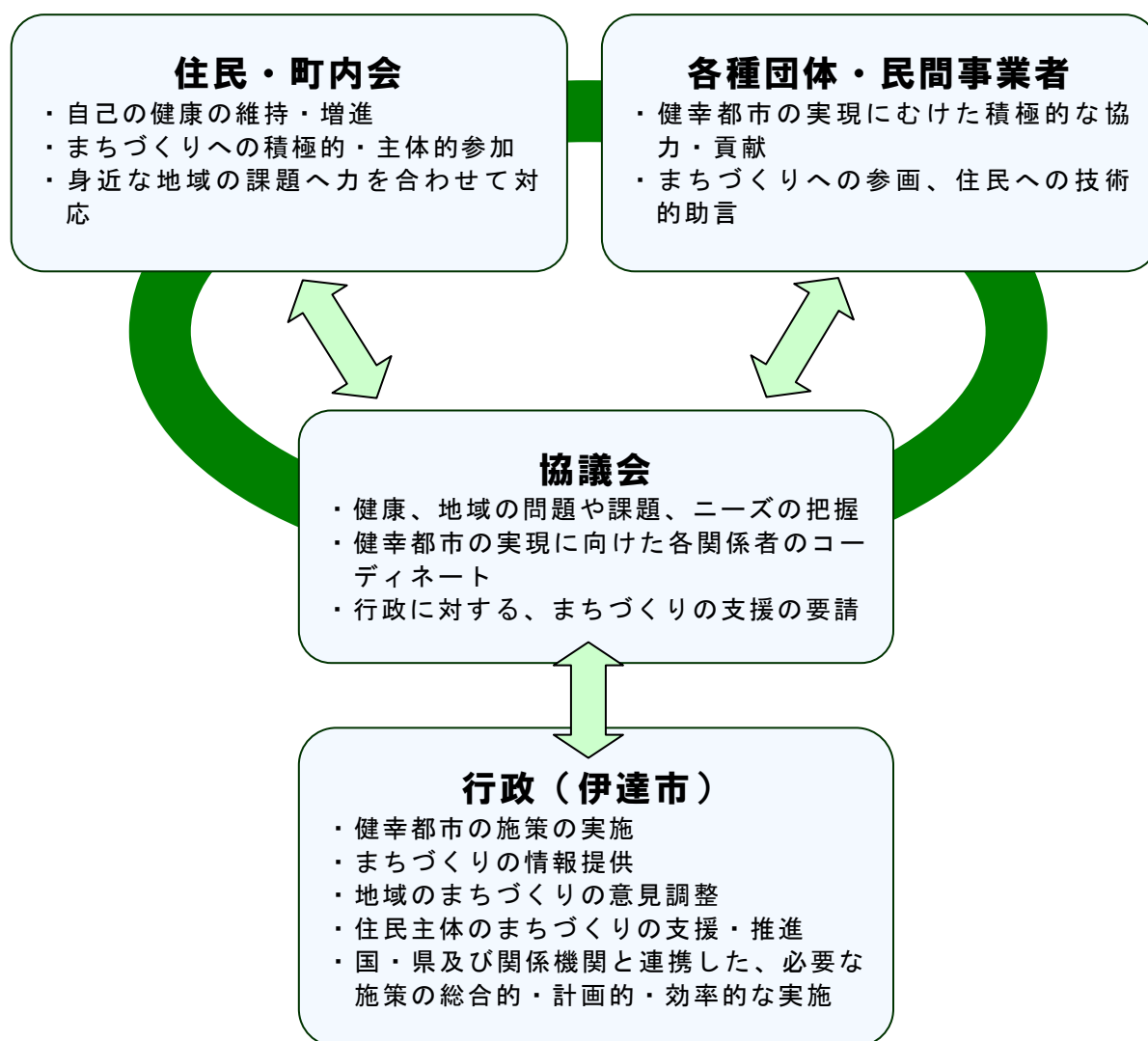
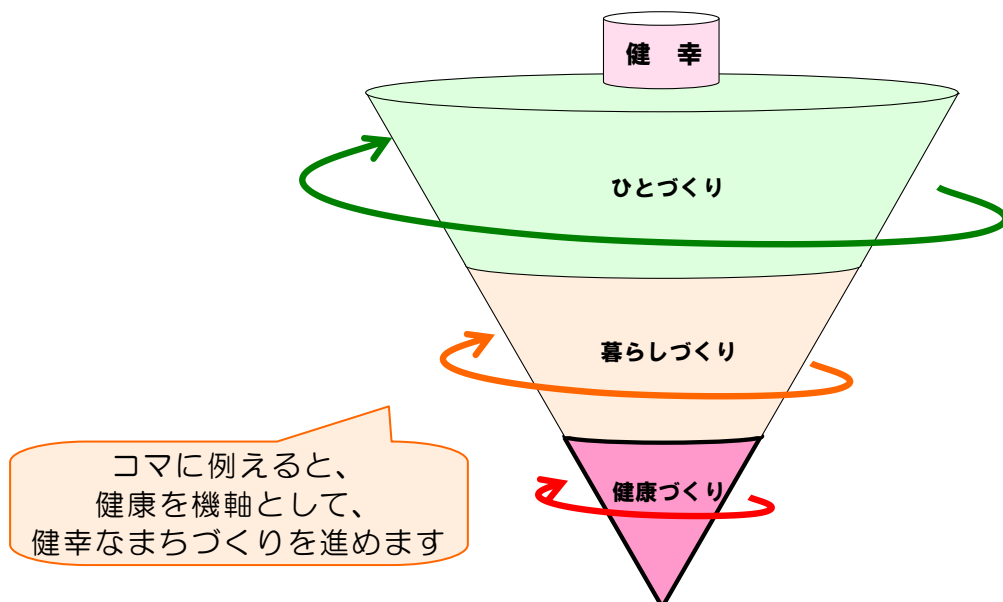


図 推進体制のイメージ

(2) 取組みの推進

本計画は、“つくって終わり”の計画ではなく、健幸都市の取組みの進捗状況において、適時見直し、充実を図ります。

「健康づくり」「暮らしづくり」「ひとづくり」の視点から、ハード事業とソフト事業とを一体的に回しながら充実させ、適切な進行管理を行ないます。



また、実現に向けては、限られた資源（財源、人材、時間等）の中で、有効な取組みの効果を発揮できるよう、以下の点に十分留意しつつ、取組んでいきます。

①情報の発信と共有化

⇒関心層・参加層の拡大へ（取組みの一体感を増やそう）

- ・本計画（課題認識、取組み方向）の共有化
- ・様々なまちづくり活動状況の情報発信と共有化

②できるプロジェクトから実践（ソフト施策が有効）

⇒成功・満足体験の拡大へ（地域に変化をつくろう）

- ・実施しやすいソフト施策が有効
（交流・体験・学習等のカリキュラムやイベント、PRツールの作成など）

③取組みが持続する仕組みを強化

⇒活動の組織や人材の育成・強化へ（持続性やつながりを強化）

- ・様々なプロジェクトの実行組織や、サポートする人材の育成が進むと、計画実現の推進力が高まり、コミュニティ強化や定住促進にも効果大と期待

④有効なハード施策に取組みを拡大

⇒投資効果の高いハード施策へ（より大きな魅力をつくろう）

- ・ソフト施策で施設等の利用者を増やし、次のハード施策（施設の充実）に活かしていくと、大きな投資効果が期待

一般的な時間軸の流れ

(3) 健幸づくり10ヶ条

健幸なまちづくりの実現に向けて、「健幸づくり10ヶ条」を以下のとおり設定しました。みんなで、もしくは一人ひとりが、暮らしの中で気をつけたり、工夫してみてください。

◎健幸づくり10ヶ条◎

- 一、**健診（検診）は必ず受診しましょう**
- 一、**みんなで健康について学びましょう**
- 一、**地域のイベントに参加しましょう**
- 一、**みんなで白根のまちづくり・ひとづくりを考えましょう**
- 一、**毎日、声かけやあいさつをしましょう**
- 一、**農構センターや集会所に集まって、楽しく交流しましょう**
- 一、**農構センターや集会所に集まって、体を動かしましょう**
- 一、**毎日歩きましょう。めざせ1日1万歩**
- 一、**身の回りの草刈や清掃活動に参加しましょう**
- 一、**「白根スポーツクラブ」に参加しましょう**

6. 参考資料

(1) 計画検討の体制について

1) 平成24年度

① 白根地区健幸都市推進協議会

	役職	氏名	選出区分
1	会長	斎藤 和雄	自治会役員
2	副会長	引地 弘一	公民館
3	副会長	佐藤 紀一郎	町内会役員
4	幹事	斎藤 秀之	消防団
5	幹事	大竹 芙美子	婦人会
6	幹事	霜山 要七	長生会
7	幹事	八巻 秀敏	青少年育成協議会
8	幹事	三浦 雄一	里づくり推進協議会
9	幹事	引地 春彦	白根小PTA
10	庶務	佐藤 キヨ子	社会福祉協議会
11	庶務	佐藤 孝之	行政経験者
12		安藤 次男	町内会役員
13		三浦 裕棋	〃
14		斎藤 行夫	〃
15		斎藤 初吉	〃
16		霜山 三徳	〃
17		斎藤 久	〃
18		横山 宗四郎	〃
19		引地 幸夫	〃
20		斎藤 光幸	〃
21		三浦 義三	〃
22		大槻 政好	〃

② 専門部会委員名簿

		氏名	選出区分
1		佐藤 栄	民生委員
2		三浦 利夫	民生委員
3		横山 富栄	民生委員
4		三浦 秀勝	消防団
5		齋藤 昭一	消防団
6		霜山 せつ子	婦人会
7		引地 幸子	婦人会
8		佐藤 恵津子	婦人会
9		安藤 きよみ	婦人会
10		菅原 進	長生会
11		菅原 武	長生会
12		霜山 茂	青少年育成協議会
13		三浦 和也	青少年育成協議会
14		霜山 学	青少年育成協議会
15		三浦 真司	青少年育成協議会
16		安藤 利夫	里づくり推進協議会
17		霜山 久顕	里づくり推進協議会
18		霜山 泰明	白根小PTA
19		三浦 俊宏	白根小PTA
20		横山 登喜子	白根小PTA
21		佐藤 久美	白根小PTA

2) 平成25年度

①白根地区健幸都市推進協議会

	役職	氏名	選出区分
1	会長	齋藤 和雄	自治会役員
2	副会長	引地 弘一	公民館
3	副会長・暮らしづくり班リーダー	佐藤 紀一郎	町内会役員
4	幹事	齋藤 秀之	消防団
5	幹事・ひとづくり班副リーダー	大竹 芙美子	婦人会
6	幹事	霜山 要七	長生会
7	幹事・暮らしづくり班副リーダー	八巻 秀敏	青少年育成協議会
8	幹事	霜山 紀行	体育協会
9	幹事	霜山 利博	交通安全協会
10	幹事	安藤 利夫	防犯協会
11	幹事	三浦 義三	里づくり推進協議会
12	幹事	横山 功	白根小PTA
13	庶務	佐藤 キヨ子	社会福祉協議会
14	庶務	佐藤 孝之	行政経験者
15		霜山 松次	町内会役員
16		安藤 富男	〃
17		齋藤 文一	〃
18		齋藤 政男	〃
19		谷口 太一	〃
20		齋藤 久孝	〃
21		横山 孝	〃
22		引地 幸夫	〃
23		齋藤 光幸	〃
24		三浦 秀一	〃
25		三浦 隆	〃

②専門部会委員名簿

		氏名	選出区分
1		佐藤 栄	民生委員
2		三浦 利夫	民生委員
3		横山 富栄	民生委員
4	健康づくり班リーダー	三浦 秀勝	消防団
5	健康づくり班副リーダー	齋藤 昭一	消防団
6		霜山 せつ子	婦人会
7		引地 幸子	婦人会
8		佐藤 恵津子	婦人会
9		安藤 きよみ	婦人会
10		大竹 順	長生会
11		菅原 武	長生会
12		霜山 茂	青少年育成協議会
13		三浦 和也	青少年育成協議会
14		霜山 学	青少年育成協議会
15		三浦 真司	青少年育成協議会
16	ひとづくり班リーダー	三浦 雄一	里づくり推進協議会
17		霜山 久顕	里づくり推進協議会
18		霜山 泰明	白根小PTA
19		三浦 俊宏	白根小PTA
20		横山 登喜子	白根小PTA
21		佐藤 久美	白根小PTA

(2) 計画検討の経緯について

1) 白根地区健幸都市推進協議会

開催日	会議名	内容
平成24年10月18日（木）	第1回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会について ・健幸都市基本構想について ・今後の進め方について
平成24年12月6日（木）	第2回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会での経過報告（アンケート調査（案）） ・アンケート調査実施についての検討
平成25年1月24日（木）	第3回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会での経過報告（ソフト事業の検討） ・アンケート調査の結果について
平成25年2月28日（木）	第4回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会での経過報告（WS・アンケート調査から見たこと） ・今後の取組みについて
平成25年3月14日（木）	第5回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の中間報告（案）について ・25年度の協議会委員について
平成25年5月16日（木）	第1回協議会・ 第1回専門部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会について ・計画の中間報告（案）について ・今後の進め方について
平成25年7月30日（火）	第2回協議会・ 第5回専門部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸都市の久野先生講演「なぜ歩くまちづくりが必要か」
平成25年10月10日（木）	第3回協議会・ 第7回専門部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画（素案）について ・健幸づくり〇ヶ条について
平成25年10月31日（木）	第4回協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画（最終案）について ・計画の推進について

2) 白根地区健幸都市推進協議会専門部会ワークショップ

開催日	会議名	内容
平成24年10月25日（木）	第1回専門部会	・参加者同士の交流 ・アンケート調査項目の検討
平成24年11月8日（木）	第2回専門部会	・アンケート調査項目の検討
平成24年11月29日（木）	第3回専門部会	・アンケート調査項目の完成
平成24年12月13日（木）	第4回専門部会	・ソフト事業のアイデア相撲
平成25年1月10日（木）	第5回専門部会	・25年度のソフト事業の具体化
平成25年1月31日（木）	第6回専門部会	・アンケート調査結果についての感想の共有 ・白根地区の魅力の再発見
平成25年2月14日（木）	第7回専門部会	・白根地区の魅力の再発見 ・白根地区の課題と施策
平成25年5月16日（木）	第1回協議会・ 第1回専門部会合同会議	・協議会について ・計画の中間報告（案）について ・今後の進め方について
平成25年6月13日（木）	第2回専門部会	・班分け ・テーマ別の取組みの検討
平成25年6月27日（木）	第3回専門部会	・取組みの優先度ランキング ・行動計画（プロジェクト）の検討
平成25年7月11日（木）	第4回専門部会	・行動計画（プロジェクト）の企画検討
平成25年7月30日（火）	第2回協議会・ 第5回専門部会合同会議	・健幸都市の久野先生講演 「なぜ歩くまちづくりが必要か」
平成25年9月5日（木）	第6回専門部会	・計画案の確認 ・行動計画（アクション・活動主体）の検討
平成25年10月10日（木）	第3回協議会・ 第7回専門部会合同会議	・計画（素案）について ・健幸づくり〇ヶ条について

(3) 白根地区健幸都市推進協議会の検討経過について

1) 平成24年度

■ 第1回協議会内容

日時：2012年10月18日（木） 午後7時～午後8時40分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員18名、専門部会委員16名、地域おこし支援員1名

内容：協議会規約や年間スケジュールを協議し、協議会役員を選任した。市より、伊達市健幸都市構想についての説明を受けた。



■ 第2回協議会内容

日時：2012年12月6日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員17名、専門部会委員2名（グループ代表）、地域おこし支援員1名

内容：

① 専門部会での経過報告

第1回から第3回までアンケート調査の検討をしてきた経過報告とアンケート調査（案）を協議会会長へ報告がされた。

② 白根地区アンケート調査の実施についての検討

アンケート調査対象や調査方法、調査項目について検討した。



■ 第3回協議会内容

日時：2013年1月24日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員16名、専門部会委員3名（グループ代表）、地域おこし支援員1名

内容：

① 専門部会での経過報告

第4回、第5回での専門部会の経過報告と「ソフト事業」の内容について検討を行う「企画委員会」を専門部会に設置することの提案を受け、協議会として了承した。

② 白根地区アンケート調査の結果について

事務局よりアンケート調査の結果を報告があり、内容について意見交換を行った。



■ 第4回協議会内容

日時：2013年2月28日（木） 午後7時～午後8時

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員14名、専門部会委員2名（グループ代表）、地域おこし支援員1名

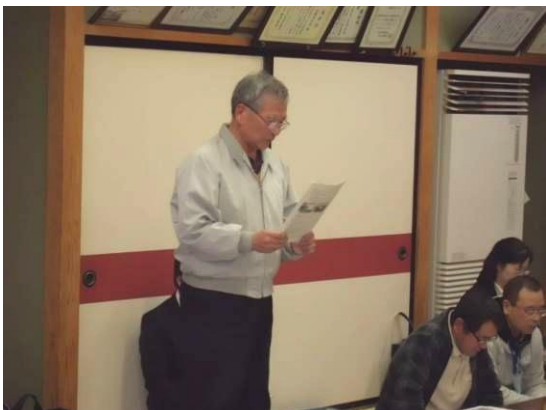
内容：

① 専門部会での経過報告

第1回から第7回までの専門部会の概要とワークショップやアンケート調査結果から白根地区の課題や取り組みが見えてきたこと等について報告を受けた。

② 今後の取り組みについて

事務局よりまちづくり計画の骨子案や今後のスケジュール案について提示され、これを基本として計画を進めていくことを協議会として了承した。



■ 第5回協議会内容

日時：2013年3月14日（木） 午後7時～午後8時

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員14名、専門部会委員3名（グループ代表）、地域おこし支援員1名

内容：

①白根地区健幸なまちづくり計画中間報告（案）の検討

白根地区健幸なまちづくり計画中間報告(案)について協議し、3月28日に市長へ報告することを了承した。また、協議会の感想を一言程度で考え、報告(案)17ページの協議会委員の感想に記載することを了承した。

②町内会役員の改選に伴う協議会委員について

協議会終了後、町内会役員の改選時期であることから、25年度の協議会委員について規約を参考としながら協議した。



2) 平成25年度

■ 第1回協議会・第1回専門部会合同会議内容

日時：2013年5月16日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員23名、専門部会委員15名

内容：

①協議会規約について

町内会役員の改選にともなう新たな協議会委員の選出と、委員の任期について説明を受けた。

②まちづくり計画中間報告（案）について

平成24年度にとりまとめたまちづくり計画中間報告（案）についての検討を行った。



■ 第2回協議会・第5回専門部会合同会議内容

日時：2013年7月30日（火） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員12名、専門部会委員13名

内容：

①久野先生の講演「なぜ歩くまちづくりが必要か」

②白根地区の健幸都市について意見交換・発表・講評

筑波大学大学院の久野譜也教授による健幸都市づくりについての講演を聞き、意見交換を行った。参加者からは、また講演をしてほしいといった意見があげられた。



第3回協議会・第7回専門部会合同会議内容

日時：2013年10月10日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員13名、専門部会委員14名

内容：

- ① 健幸なまちづくり計画（素案）の確認
- ② 「健幸づくり〇ヶ条」の検討
健幸づくりの主役である住民の皆さんが、日常的な暮らしの中でできること、目標とすることを「“健幸づくり〇ヶ条”」として整理した。



※投票結果

目標	キーワード案	結果	順位
健康づくり	① 健診（検診）は必ず受診しましょう	55	1
	② 農構センターや集会所に集まって、体を動かしましょう	19	7
	③ みんなで健康について学びましょう	33	2
	④ 「白根スポーツクラブ」に参加しましょう	12	10
	⑤ 毎日歩きましょう。めざせ1日1万歩。	14	8
暮らしづくり	⑥ 農構センターや集会所に集まって、楽しく交流しましょう。	20	5
	⑦ 車になるべく乗らない生活を考えてみましょう。	4	13
	⑧ 身の回りの草刈や清掃活動に参加しましょう	13	9
	⑨ みんなで魅力ある景観を育てましょう	7	11
ひとづくり まちづくり	⑩ みんなで考えた周遊・散策ルートを歩きましょう	5	12
	⑪ 地域のイベントに参加しましょう	29	3
	⑫ みんなで白根のまちづくり・ひとづくりを考えましょう。	27	4
	⑬ 毎日、声かけやあいさつをしましょう	20	5

第4回協議会内容

日時：2013年10月31日（木）

午後7時～午後8時15分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員16名、専門部会委員2名

内容：

- ① 徳島県上勝町の視察報告
10月15～17日に実施した徳島県上勝町への視察について、3委員から、取り組み事例の紹介や感想の報告を行った。
- ② 健幸なまちづくり計画（最終案）の確認
白根地区健幸なまちづくり計画（最終案）について協議し、11月4日に市長へ答申することを了承した。
- ③ 計画の推進について
今後の協議会、専門部会、リーディングプロジェクトの進め方を整理した。



(4) 白根地区専門部会ワークショップの検討経過について

1) 平成24年度

■ 第1回専門部会ワークショップ内容

日時：2012年10月25日（木） 午後7時～午後8時40分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員12名、協議会役員9名

内容：ワークショップ

- ①「参加者同士の交流」
- ②「アンケート調査項目の検討」

これからの白根地区のために何を聞きたいか、質問項目を1人5項目以上出し合い、グループごとに質問項目の分類を行った。



■ 第2回専門部会ワークショップ内容

日時：2012年11月8日（木） 午後7時～午後9時

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員13名、協議会役員8名

内容：ワークショップ「アンケート調査項目の検討」

グループごとにアンケート調査項目の整理と前回のワークショップでの質問事項に不足する項目を追加し、全グループの質問事項を12項目の大分類に分け、質問項目と回答の選択肢をそれぞれ考え作業した。



■ 第3回専門部会ワークショップ内容

日時：2012年11月29日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員10名、協議会役員6名

内容：ワークショップ

「アンケート調査項目の完成」

前回検討したアンケート項目を整理し、修正を加える作業を行い、アンケート項目を完成。また、1人3つ以上の平成25年度から取り組んでみたいソフト事業のアイデアだしを行った。



※専門部会で出た意見の一部

H25年度に
取り組んで
みたい
ソフト事業

健康管理

- ・企画委員会の設立
- ・体力測定及び健康診断
- ・健康相談室

支えあい

- ・駅伝大会
- ・山登り
- ・自然と足が向くように公園の周りに季節を感じる木々や花々を移植する。
- ・もろこしに力を入れて焼酎の直売所兼サロン、農家レストラン
- ・実話から生まれた「葉っぱビジネス」の徳島県上勝町との交流又は視察研修
- ・介護師、ヘルパーの資格取得の為の講習会

■ 第4回専門部会ワークショップ内容

日時：2012年12月13日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員11名、協議会役員9名

内容：ワークショップ「アイデア相撲」

ソフト事業のアイデアを、グループごとに1～2個選出し、おもしろ性や継続可能性など様々な観点からアイデア相撲（PR合戦）を行い、勝者として「白根スポーツコン」というアイデアを選んだ。この事業は体育館を活用するスポーツを通じた婚活イベントを開催するというものである。



■第5回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年1月10日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員13名、協議会役員4名

内容：ワークショップ「平成25年度のソフト事業の具体化」

アイデア相撲によって選出した「白根スポーツコン」について、グループごとに対象者や規模、スポーツと婚活の関連付けなどを具体化した。

またこの事業についての企画委員会の委員として8名を選出し、今後このソフト事業に関する企画について、企画委員会を中心として進めていくことにした。

※専門部会で出た意見の一部

ソフト事業の具体化の内容

種目：バドミントン、卓球等
 対象：白根地区でスポーツチームを作り、徐々に周囲をまきこむ。
 婚活との関連：季節ごとに遊べるメニューを考える。
 競技後にバーベキュー

企画委員会メンバー

A 班	佐藤 恵津子
	引地 幸子
B 班	大竹 順
	霜山 茂
C 班	霜山 久顕
	三浦 和也
VIP 班	八巻 秀敏
	大竹 芙美子

■第6回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年1月31日（木） 午後7時～午後8時40分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員14名、協議会役員8名

内容：ワークショップ

①「アンケート調査結果に対する感想の共有」

アンケート調査結果に対する感想を出し合い、グループごとにまとめた。その感想には白根地区に愛着を感じる人の多さや回収率の高さに触れたものが多かった。

②「白根地区の魅力の再発見」

白根地区の魅力と誇りに思っているものについて考え、グループごとに集まった意見の分類を行った。



■第7回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年2月14日（木） 午後7時～午後8時50分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員9名、協議会役員8名

内容：ワークショップ

①「白根地区の魅力の再発見」

前回分類した白根地区の魅力と誇りに思っているものについてまとめた。

②「白根地区の課題と施策」

アンケート結果から考えた施策を分類し、キャッチフレーズを付けてまとめた。これらのまとめから白根地区の課題や取り組みの方向性が見えてきた。



※専門部会で出た意見の一部

白根の課題と取り組み

キャッチフレーズ『いつまでも住んでいたいなあ～白根地区』

○らくらく移動

- ・病院からのバスを地区ごと運行してもらいたい。

○楽しい買い物

- ・高齢者一人暮らしの方が、日常の買い物ができるようにしたい。
- ・地域住民のための小売店は、自給自足でさらに自分たちで販売することのできる場所をつくるべき。
- ・白根小学校の建物の中に売店や食堂などができればみんなが集まれる場所になるのではないか。

○元気な笑顔

- ・病院が遠くて行けない方のために白根地区に往診施設があったらいい。

○仲良く遊ぼう

- ・農耕センターの近くにグランドゴルフのできる場所があれば嬉しい。
- ・農耕センターに入浴施設とカラオケ設備があればいい。
- ・地区の中心地に公園をつくってもらいたい。
- ・白根に多目的陸上競技場があると良い。総合運動施設をつくり県内外から人を呼び込む。

○おいしい白根

- ・耕作放棄地にもろこしやそばなどを植えて、白根の特産品にする。

2) 平成25年度

■ 第1回協議会・第1回専門部会合同会議内容（再掲）

日時：2013年5月16日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員23名、専門部会委員15名

内容：

①協議会規約について

町内会役員の改選にともなう新たな協議会委員の選出と、委員の任期について説明を受けた。

②まちづくり計画中間報告（案）について

平成24年度にとりまとめたまちづくり計画中間報告（案）についての検討を行った。



■ 第2回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年6月13日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員11名、協議会役員7名

内容：ワークショップ「テーマに沿って考えよう」

「健康づくり」「暮らしづくり」「ひとづくり」の3つのテーマで班を分け、各班のテーマに即して、必要な取組み・地域資源の活用についてアイデア出しを行った。



■第3回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年6月27日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員9名、協議会役員 7名

内容：ワークショップ

①「取組みに順位をつけよう」

白根地区の将来像の実現に向けて、「短期・早期に実施すべきもの」「地域の魅力を高めることができるもの」といった観点から重要度が高いと考える取組みメニューについて、投票により順位づけを行った。

②「行動計画（プロジェクト）を考えよう」

上記のベスト10に選んだ取組みメニューについて、「同時・同時期にできるもの」「同じ場所でできるもの」といった視点からグルーピングを行い、重点的に進めるプロジェクトとして整理した。



■第4回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年7月11日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員12名、協議会役員8名

内容：ワークショップ「行動計画（プロジェクト）の企画を考えよう」

各プロジェクトの必要な取組みについて、「早期にできそうなこと」「次にできそうなこと」「さらなる展開」の視点から取組む順序を整理した。散策コースプロジェクトについては、詳細なルートの検討を行った。



■第2回協議会・第5回専門部会合同会議内容（再掲）

日時：2013年7月30日（火） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員12名、専門部会委員13名

内容：

- ①久野先生の講演「なぜ歩くまちづくりが必要か」
- ②白根地区の健幸都市について意見交換・発表・講評

筑波大学大学院の久野譜也教授による健幸都市づくりについての講演を聞き、意見交換を行った。参加者からは、また講演をしてほしいといった意見があげられた。



■第6回専門部会ワークショップ内容

日時：2013年9月5日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

参加人数：専門部会委員10名、協議会役員8名

内容：ワークショップ

- ①「計画案の確認」

事務局より、健幸なまちづくり計画（事務局案）についての説明を受け、意見交換を行った。

- ②「行動計画（アクション：活動主体）を考えよう」

「健康づくり」「暮らしづくり」「ひとづくり」のテーマ別に行動計画を検討し、地域が主体となっていくことのできる取組みについて意見交換を行った。



■ 第3回協議会・第7回専門部会合同会議内容（再掲）

日時：2013年10月10日（木） 午後7時～午後8時30分

場所：白根農業構造改善センター

出席者：協議会委員13名、専門部会委員14名

内容：

- ① 健幸なまちづくり計画（素案）の確認
- ② 「健幸づくり〇ヶ条」の検討
健幸づくりの主役である住民の皆さんが、日常的な暮らしの中でできること、目標とすることを「“健幸づくり〇ヶ条”」として整理を行った。



※投票結果

目標	キーワード案	結果	順位
健康づくり	① 健診（検診）は必ず受診しましょう	55	1
	② 農構センターや集会所に集まって、体を動かしましょう	19	7
	③ みんなで健康について学びましょう	33	2
	④ 「白根スポーツクラブ」に参加しましょう	12	10
	⑤ 毎日歩きましょう。めざせ1日1万歩。	14	8
暮らしづくり	⑥ 農構センターや集会所に集まって、楽しく交流しましょう。	20	5
	⑦ 車になるべく乗らない生活を考えてみましょう。	4	13
	⑧ 身の回りの草刈や清掃活動に参加しましょう	13	9
	⑨ みんなで魅力ある景観を育てましょう	7	11
ひとづくり・まちづくり	⑩ みんなで考えた周遊・散策ルートを歩きましょう	5	12
	⑪ 地域のイベントに参加しましょう	29	3
	⑫ みんなで白根のまちづくり・ひとづくりを考えましょう。	27	4
	⑬ 毎日、声かけやあいさつをしましょう	20	5

(5) 白根地区かわら版の発行について

白根地区における健幸都市モデル地区の取り組みについて、多くの地域住民の皆さんに周知するため、チラシを作成し、町内会長を經由して全戸配布してきました。

〈白根地区健幸都市かわら版〉

伊達市健幸都市 モデル地区取組み開始！

10月18日 (木) **「第1回白根地区健幸都市推進協議会」開催！**

構成
協議会委員22名
専門部会委員21名

専門部会で出された意見等を健幸都市まちづくり計画として策定していきます！



10月25日 (木) **「専門部会」ワークショップもスタート！**

毎回、テーマを決め、自由に意見やアイデアを出し合います。

4つのグループに分かれ様々な意見を出しました

2012年11月1日号 白根地区健幸都市推進協議会

〈白根地区健幸都市推進かわら版 第2号〉

健幸都市アンケートを実施します

●目的●
まちづくり計画策定のため、現状の課題やみなさんの意見・アイデアを整理します

●対象●
白根地区在住の中学生以上のみなさん


●調査期間●
○配布: 12月14日から
○回収: 12月24日まで

●調査方法●
町内会長による配布・回収

調査対象のみなさんご協力をお願いします！

専門部会ワークショップでアイデアを検討

これまで3回のワークショップを実施しました。
4グループに分かれ、これからの白根地区のためにアンケートで何を聞くべきか、質問事項と選択肢を考えました。



12月6日 (木) **第2回協議会を開催**

現状・課題の把握 (アンケート) 第2回では、専門部会で出された項目をもとに、アンケート調査票を作成するとともに、今後の進め方を検討しました。

専門部会) まちづくり計画

2012年12月13日号 白根地区健幸都市推進協議会

〈白根地区健幸都市推進かわら版 第3号〉

健幸都市アンケートを実施しました

18歳以上、中学生以上ごで実施し、回収率の合計が97% (641名) でした。ご協力ありがとうございました。

主な意見

<p>Q「健幸都市」を知っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知っていた (46.2%) ○知らなかった (43.7%) <p>Q魅力あるまちに必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康・医療施設 (4.9%) ○空き家の利活用 (4.8%) ○企業誘致 (働く場) (4.8%) ○小売店 (4.7%) など 	<p>Q不便・困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通の便が悪い (7.6%) ○病院が遠い (6.7%) ○耕作放棄地・森林荒廃 (6.1%) など <p>Q白根に住み続けたいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ずっと住み続けたい (44.8%) ○当分の間は住み続けたい (24.0%) ○早く引っ越したい (2.3%) など
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

専門部会で分析し、まちづくりの検討に役立てます。

まちづくりのアイデアを検討

専門部会では、2013年度のまちづくりのソフト事業を検討しています。
「白根スポーツ・コン」(スポーツを通して地域の活性化・婚活)や「ウォーキング・イベント」のアイデアが出されています。

1月24日 (木) **第3回協議会を開催**

協議会では、アンケートの調査結果を協議しました。専門部会での企画を中心に、今後のまちづくりの方向性を整理していきます。

2013年2月28日号 白根地区健幸都市推進協議会

〈白根地区健幸都市推進かわら版 第4号〉

まちづくりの取組みを検討

専門部会では、昨年12月に実施した健幸都市のアンケート結果を分析し、まちづくりの検討を行いました。
白根の「魅力」と「ほこり」について整理しました。

○白根の魅力○
『豊かな自然』『人間関係』『さまざまな行事・イベント』『歴史風土』『もろこし』など

○白根のほこり○
『自然』『人情』『地域の交流』『もろこし』『スポーツ』『三浦弥平氏』など

「魅力」と「ほこり」を活かし、「健幸都市」とともに重点的に取り組んでいくことを検討しました。そのキャッチフレーズを紹介します。

『いつまでも住んでいたいな〜白根地区』
『住んでいて良かったな〜と思えるまちづくり 白根』
『行政に頼らず、自分たちができることは自分たちでやる！』
『丈夫なとしより』『皆して安心』『足腰運者で』

今後の進め方

伊達市では健幸都市基本計画を平成24年度中に策定する予定です。それに基づき、白根地区では、モデル地区として、先行的な取組みを進めていきます。
協議会及び専門部会でも、事業等の企画も検討していきますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。

2013年2月28日号 白根地区健幸都市推進協議会

白根地区健康都市推進かわら版 第5号

協議会・専門部会がスタート

5月16日(木)に平成25年度の第1回協議会を開催しました。3月に市長へ報告した「健康なまちづくり計画中間報告案」について、具体的な取組みの検討を進めるための、平成25年度の体制がスタートしました。委員等については裏面を参照。

梁川町白根地区健康なまちづくり計画中間報告案 (H25年3月時点)

「健康都市」を実現し、住み続けたい、住んでいてよかったな～と思えるまち・白根

- 健康づくり：健康づくりの意識が高く、心も体も元気なまち
- 暮らしづくり：ふれあい・絆が強く、安心して住み続けることのできるまち
- ひとづくり：健康意識・まちづくりへの意欲が生まれるまち



今年度の開催経過

- 第1回：5月16日(木) 協議会と合同開催
○今年度の進め方について
- 第2回：6月13日(木)
○テーマ別取組みの方向性を共有しよう
- 第3回：6月27日(木)
○取組みに順位をつけよう
○行動計画(プロジェクト)を考えよう

今後の進め方

今のところ、中心部の既存施設を活用したまちなかサロン、健康サロンの展開やウォーキングコース整備などの意見が出されています。

白根地区では、健康なまちづくり計画を秋ごろにまとめる予定です。また、先行的な取組みを進めたいため、協議会では企画を検討していきますので、今後ともみなさまご協力をお願いします。

なお、白根地区の健康なまちづくりについてのご意見は、お近くの協議会委員へ、地区のみんで白根の未来を考え、実現しましょう。

2013年7月11日 白根地区健康都市推進協議会

白根地区健康都市推進協議会委員名簿 2013/5/1

役職	氏名	選出区分
1 会長	斎藤 和雄	自治会役員
2 副会長	引地 幸子	公民館
3 副会長・暮らしづくり班リーダー	佐藤 新一郎	町内会役員
4 幹事	斎藤 素之	消防団
5 幹事・ひとづくり班副リーダー	大竹 美美子	婦人会
6 幹事	霜山 夏七	長生会
7 幹事・暮らしづくり班副リーダー	八巻 秀敏	青少年育成協議会
8 幹事	霜山 紀行	体育協会
9 幹事	霜山 利博	交通安全協会
10 幹事	安藤 利夫	防犯協会
11 幹事	三浦 泰三	まちづくり推進協議会
12 幹事	横山 功	白根小PTA
13 庶務	佐藤 キヨ子	社会福祉協議会
14 庶務	佐藤 孝之	行政経験者
15	霜山 松次	町内会役員
16	安藤 富男	〃
17	斎藤 文一	〃
18	斎藤 政男	〃
19	谷口 太一	〃
20	斎藤 久	〃
21	横山 孝	〃
22	引地 幸夫	〃
23	斎藤 光幸	〃
24	三浦 秀一	〃
25	三浦 隆	〃

専門部会委員名簿

	氏名	選出区分
1	佐藤 栄	民生委員
2	三浦 利夫	民生委員
3	横山 富栄	民生委員
4 健康づくり班リーダー	三浦 秀三	消防団
5 健康づくり班副リーダー	斎藤 昭一	消防団
6	霜山 せつ子	婦人会
7	引地 幸子	婦人会
8	佐藤 恵津子	婦人会
9	安藤 きよみ	婦人会
10	大竹 順	長生会
11	菅原 武	長生会
12	霜山 茂	青少年育成協議会
13	三浦 和也	青少年育成協議会
14	霜山 孝	青少年育成協議会
15	三浦 真司	青少年育成協議会
16 ひとづくり班リーダー	三浦 雄一	まちづくり推進協議会
17	霜山 久彌	まちづくり推進協議会
18	霜山 泰明	白根小PTA
19	三浦 俊宏	白根小PTA
20	横山 登喜子	白根小PTA
21	佐藤 久美	白根小PTA

白根地区健康都市推進かわら版 第6号

久野先生と意見交換しました

第4回専門部会(裏面参照)に引き続き、7月30日の第5回では、健康都市を提唱している久野謙也先生(筑波大学大学院)にお越しいただき、白根地区のまちづくりについてアドバイスをいただき、意見交換を行いました。

講演いただいた主な内容は以下のとおりです。

【人口の減少】

- これから日本全体で高齢化と人口減少が進展します。(世界でも事例がない)
- 白根地区も約20年で人口が半減すると予想されます。
- 高齢者が増加し、車で買い物に行く生活が普通でなくなりやすくなります。



【健康づくり】

- 自動車依存の生活は、生活習慣病を増やし、医療費を高めています。例えば、全国でも自動車の依存度と糖尿病のリスクは相関関係にあります。
- 自動車にだけ依存した生活(ドア・ツー・ドア)を見直していくことが必要です。
- 健康は「社会貢献」であるとともに、「個人と社会」双方にとってメリットがあります。
- 「3：7の法則(3割：健康に関心あり 7割：無関心)」の無関心層の医療費は高くなっています。→無関心層を変えていく取組みが必要です。

【まちづくり】

- まちづくりは、「あれつこう、これつこう」だけでなく、つくったものを誰が維持管理していくのか、使ってもらえるようにする仕掛け、まで考えることが大切です。
- 歩くことは健康に良いことです。長く歩かなくても、生活の中で少し移動するところを歩くようにすると、健康づくりになります。
- 意図しなくても、自然と歩いて(歩かされる)しまちづくりが大切です。例えば、バスで移動すればバス原までは歩きます、それが健康につながります。



○「いつまでも元気で健康寿命が延びるような街の機能」「高齢者の身体が弱ったときにそれを支える機能」を考えてください。

→コンパクトなまち、高齢者も元気に暮らしていくまちが大切です。

○歩くことは、健康だけでなく、絆づくりや人と人のつながり(まちでの偶発的な出会い、あいさつ)にもつながります。地域のつながりを、次の世代につないでください。

まちづくりの良い計画ができれば、全国から注目の集る「伊達白根モデル」となるかもしれません。

健康都市への関心を高めるため、参加者からまた講演をしてほしい、などの意見があげられました。先生の話も踏まえて、白根地区の健康なまちづくり計画を秋ごろにまとめる予定です。今後ともみなさまご協力をお願いします。

2013年8月8日 白根地区健康都市推進協議会

重点的な取組みを検討しています

専門部会では、「健康都市」を実現するために必要な取組みを検討しています。7月11日の第4回専門部会では、白根地区で重点的、横断的に進めたい「健康活動拠点づくり」「交流・賑わい拠点づくり」「白根散策ルートづくり」の3つのテーマについて、以下のとおり検討を進めました。

【健康活動拠点づくり】

①早期にできること

- 健康増進のカリキュラムの充実
- 健康サロンの設置
- スポーツ・カリキュラムの充実
- スポーツ・イベントによる活性化

②次にできること

- 小学校体育館の設備充実
- 健康増進・支援員の育成

③更なる展開

- 散策・ジョギングコースの整備
- 屋内・屋外運動場の整備
- 運動場の設置

【交流・賑わい拠点づくり】

①早期にできること

- 交流サロンの設置
- 交流増進カリキュラムの充実
- 農機センターの一角を地域交流センターとして整備
- 白根をPRするHPを作成
- 農機センターに光ファイバーを整備

②次にできること

- 入浴施設の整備
- 販売・飲食施設の整備
- イベント交流広場の整備
- 地域の魅力を伝える体験イベントの充実

③更なる展開

- 白根の魅力伝えるPR冊子の作成

【白根散策ルートづくり】

～散策コースの検討～

「まちなか周遊ルート」

「秘伝(沼無道)ルート」

「白根オリンピックルート」

必要な取組み

- 新たな散策路の整備・拡充
- 回遊ポイントへ休憩施設を設置
- 回遊ポイントへ案内板を設置
- 花を植えるなど魅力ある景観の整備
- 散策案内ボランティアの育成
- 「散策ルートマップ」の作成
- 「散策ルート」を楽しむ体験イベント
- 魅力を守る人を育てる

白根地区健康都市推進かわら版 第7号

健康なまちづくり計画案をまとめました

白根地区における健康づくりの取組みなどについて、計画書にまとめました。

将来像：「健康都市」を実現し、住み続けたい、住んでいてよかったな～と思えるまち・白根			
	健康づくり	暮らしづくり	まちづくり・ひとづくり
取組み例	①健康サロン ②健康づくりの意識啓発 ③白根スポーツクラブ ④スポーツ広場	⑤地域交流拠点 ⑥デマンド交通 ⑦高齢者住宅 ⑧自然環境・農地の保全	⑨散策ルート ⑩見まもり活動の推進 ⑪特産品の活用 ⑫イベント事業 ⑬マップ・案内板

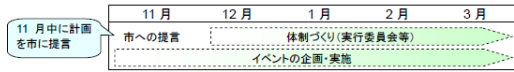
「やってみっぺ」プロジェクト

計画では、以下のような主要プロジェクトを検討しています。

健康サロンづくりPJ 地区の集会所や農機センターを活用し、気軽に参加できる健康サロン・健康教室を開催します。また、白根小学校体育館を活用したスポーツクラブなどを進めます。	交流拠点づくりPJ 農機センターを活用し、さまざまな交流や活動を通して、白根地区の魅力である人と地域とのつながりを深めます。また、健康情報や地域情報の発信拠点としても活用します。
散策ルートづくりPJ 集会所周辺を気軽に歩くための散策ルートや神社仏閣、桜や花の見所など楽しみながら歩く周遊ルートを設定し、体力や好みにあわせて気軽に歩けるような取組みを進めます。	連携イベントPJ 健康都市の具体的な取組みとして、健康都市講演会や健康サロン、世代間交流イベント、散策周遊ルート開発といった事業を実施します。

今後のスケジュール

上記内容を市に提言することを予定しています。あわせて、上記プロジェクト、イベント等の企画・実施し、みなさんと共に進めていきたいと思います。



2013年11月24日号 白根地区健康都市推進協議会

行動計画を検討しました

専門部会では、「健康都市」を実現するために必要な取組みを検討してきました。9月5日の第6回専門部会では、健康なまちづくり計画(案)について、意見交換を行いました。さらに「健康づくり」「暮らしづくり」「ひとづくり」のテーマ別に行動計画を検討し、地域、わたしたちが主体となって行うことのできる取組みについて意見交換を行いました。



健康づくり〇ヶ条を検討しました

10月10日の第3回協議会・第7回専門部会合同会議では、健康なまちづくりの実現に向けた「健康づくり〇ヶ条」について検討しました。健康づくりの主役であるみなさんが日々の生活の中でできることと目標とすることについて、投票による順位付けを行ったところ、以下のような投票結果となりました。



計画策定後は、これらの目標を日々の生活の中で意識しながら、みなさんと共に白根地区健康なまちづくりを実現していきたいと思っています。

目標	キーワード案	全体		別別順位			
		票数	順位	1班	2班	3班	4班
健康づくり	①健診(検診)は必ず受診しましょう	55	1	1	1	1	1
	②農機センターや集会所に集まって、体を動かしましょう	19	7	3	6	6	8
	③みんなで健康について学びましょう	33	2	4	4	2	2
	④「白根スポーツクラブ」に参加しましょう	12	10	12	10	9	2
暮らしづくり	⑤毎日歩きましょう。めざせ1日1万歩	14	8	5	5	8	12
	⑥農機センターや集会所に集まって、楽しく交流しましょう	20	5	8	6	5	5
	⑦車になるべく乗らない生活を考えてみましょう	4	13	12	10	9	12
	⑧身の回りの草刈りや清掃活動に参加しましょう	13	9	5	9	9	6
まちづくり	⑨みんなで考えた周遊・散策ルートを歩きましょう	7	11	8	12	9	10
	⑩地域のイベントに参加しましょう	5	12	11	12	13	10
	⑪地域のイベントに参加しましょう	29	3	5	2	3	4
	⑫みんなで白根のまちづくり・ひとづくりを考えましょう	27	4	2	2	6	6
ひとづくり	⑬毎日、声かけやあいさつをしましょう	20	5	8	6	3	8